

Ⅱ 各政策・施策の内容

3 区民生活と産業分野

**にぎわいとやすらぎのあるまちを
創る**

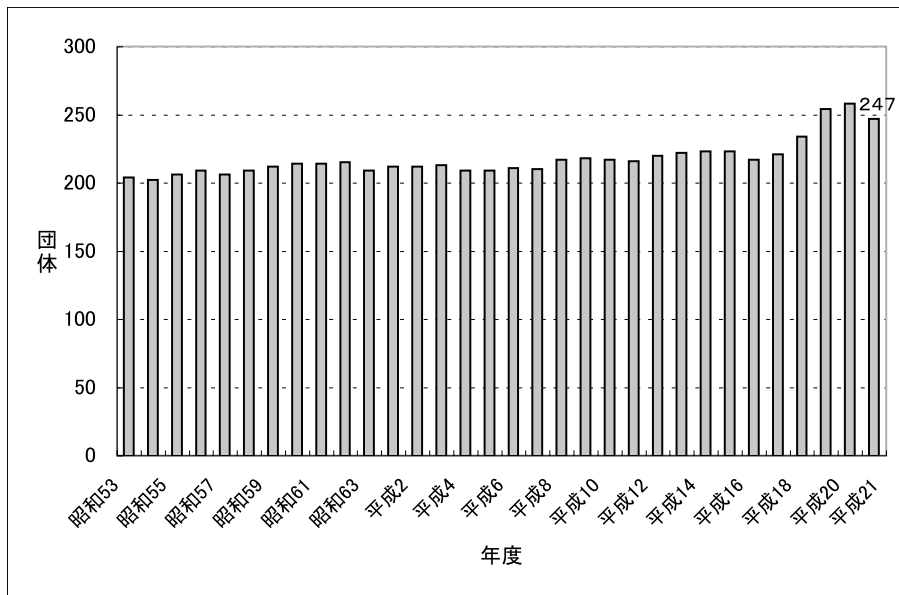
Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

政策31 まちの地域力を高める

施策311 地域コミュニティを活性化し、協働を推進する

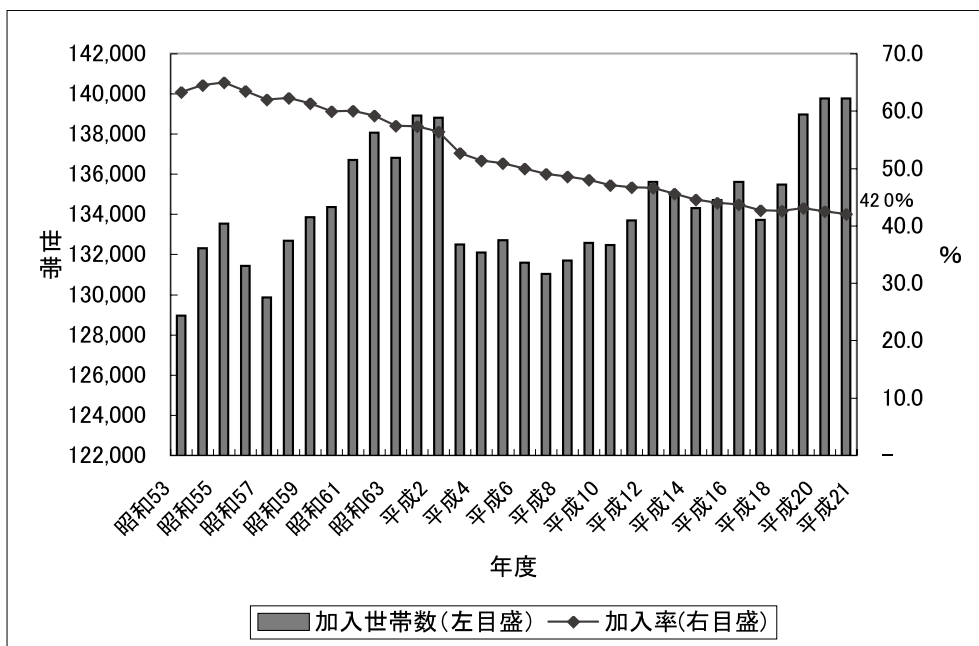
町会・自治会数は年度により増減はあるものの概ね増加傾向にあるが、加入世帯の割合は減少傾向にある

図表 3-1 練馬区の町会・自治会数の推移



出典) 区地域振興課資料

図表 3-2 練馬区の町会・自治会加入世帯数、同加入率の推移

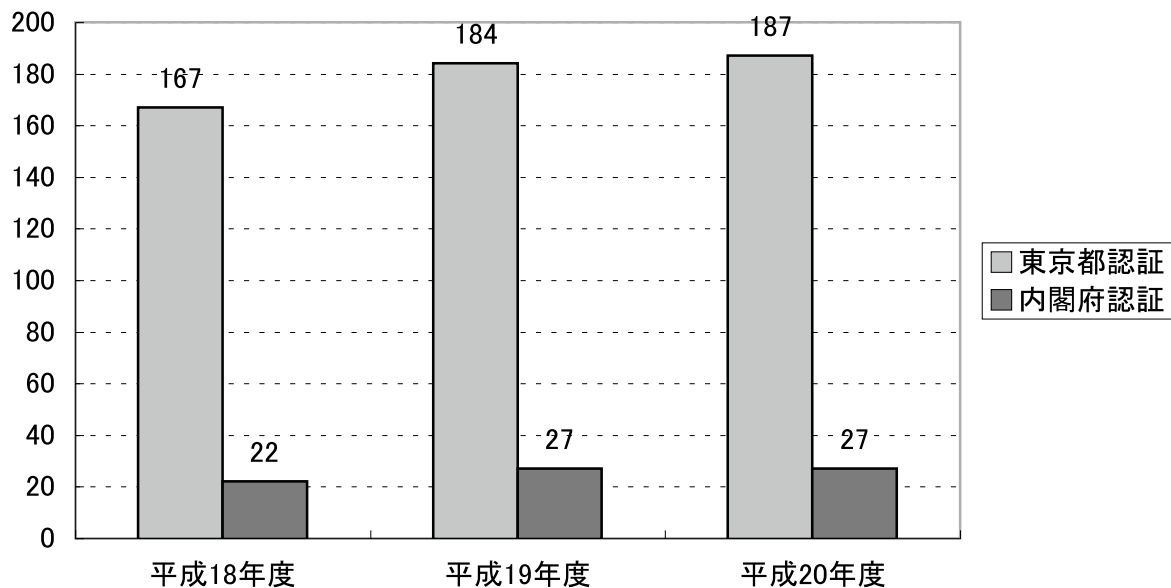


出典) 区地域振興課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

練馬区内に主たる事務所をもつNPOは近年増加している

図表 3-3 練馬区内に主たる事務所をもつNPO数の推移



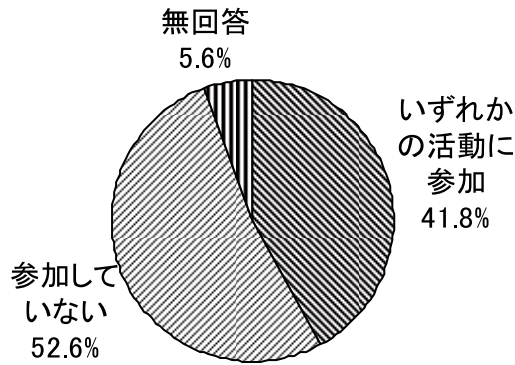
出典) 区地域振興課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

ここ1年間の地域活動への区民の参加率は4割強で、参加率の高いものは、「町会・自治会やマンションの管理組合の活動」、「清掃やリサイクル、環境保全、まちの美化、緑化などに関する活動」などで

図表 3-4 この1年間の地域活動への参加状況

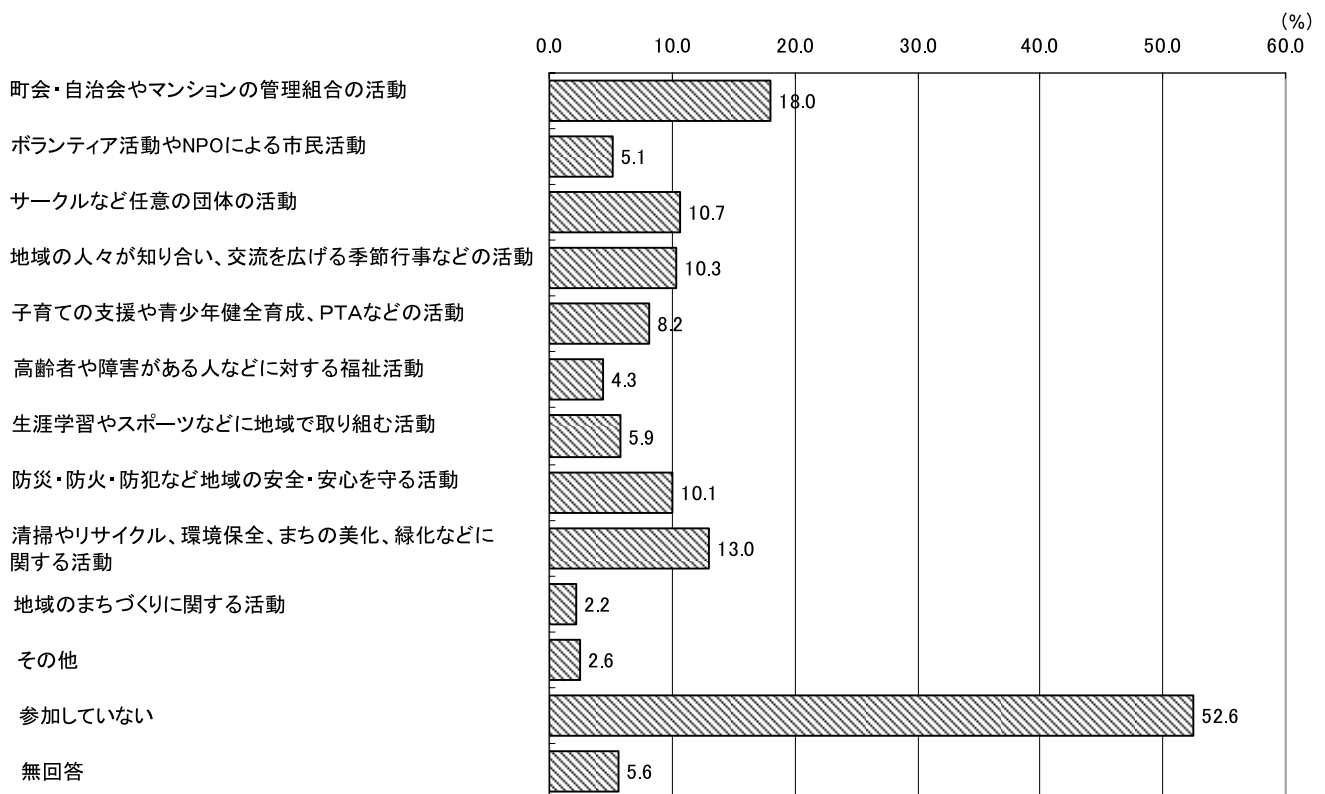
n = 784



出典) 新練馬区基本構想素案等に対する区民意識意向調査 (平成 21 年 11 月)

図表 3-5 この1年間に参加した地域活動 (複数回答)

n = 784



出典) 新練馬区基本構想素案等に対する区民意識意向調査 (平成 21 年 11 月)

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

練馬区NPO活動支援センターでは相談業務や団体の活動紹介などを行っている

図表 3-6 練馬区NPO活動支援センターの運営実績

	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
団体からの相談件数	158 件	395 件	379 件
センターのホームページで活動を 紹介している団体数	75 団体	87 団体	105 団体
センターのホームページへのアク セス件数	5,648 件	51,222 件	206,355 件

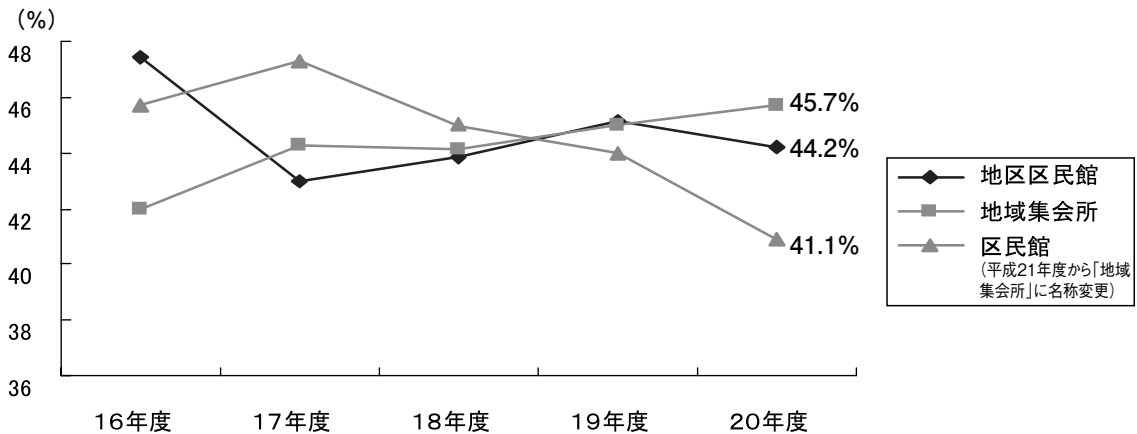
注) 平成 18 年度は、平成 18 年 10 月～平成 19 年 3 月までの 6 か月間の運営

出典) 区地域振興課資料

施策 312 地域活動を支える情報・機会・場の提供を行う

地域集会施設の利用率は40%台で推移している

図表 3-7 地域集会施設の利用率の推移



※利用率は午前・午後・夜間を1区分として、利用区分を利用可能区分で除したもの

※平成 21 年度から、区民館は地域集会所に名称を変更

出典) 区地域振興課資料

図表 3-8 地区区民館の運営を協働で実施している館数

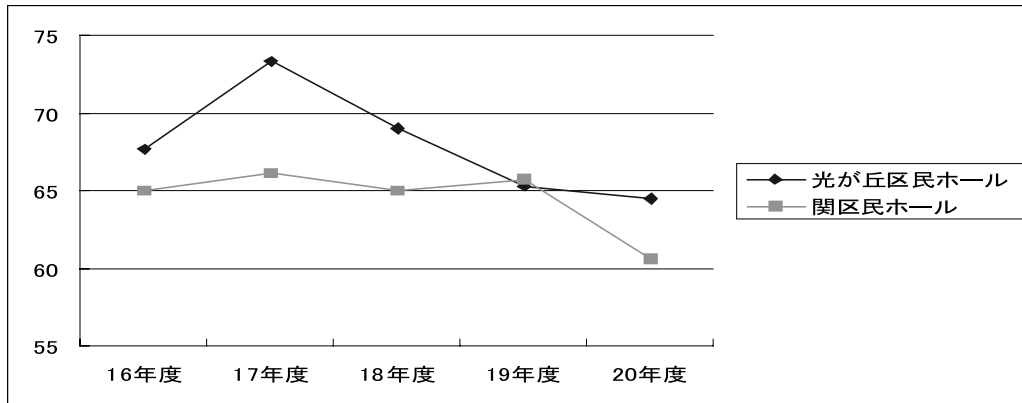
年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
館数	3 館	6 館	8 館

出典) 区地域振興課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

区民ホールの利用率は、概ね60%台で推移している

図表 3-9 区民ホールの利用率の推移



出典) 区地域振興課資料

政策 32 経済活動を活発にする

施策 321 練馬区の特徴的な産業を支援する

アニメ関連企業数が全国の自治体の中で最も多い

図表 3-10 国内のアニメ関連企業数 上位10自治体（東京都以外は道府県の企業数）

順位	自治体名	企業数
1	練馬区	94
2	杉並区	75
3	新宿区	44
4	渋谷区	43
5	港区	30
6	西東京市	25
7	中野区	22
8	大阪府	21
9	武蔵野市	20
10	埼玉県	17

注) 国内全体の企業数は626社であり、そのうち都内は497社である。

出典) 独立行政法人 中小企業基盤整備機構「コンテンツ産業の方向性に関する調査研究」(平成19年3月)

図表 3-11 区内の映像・音声・文字情報制作業の従業者数

産業分類	従業者数
映像・音声・文字情報制作業	1,980
映像情報制作・配給業	1,538
音声情報制作業	5
新聞業	21
出版業	226
ニュース配給業	0
その他の映像・音声・文字情報制作に 附帯するサービス業	190

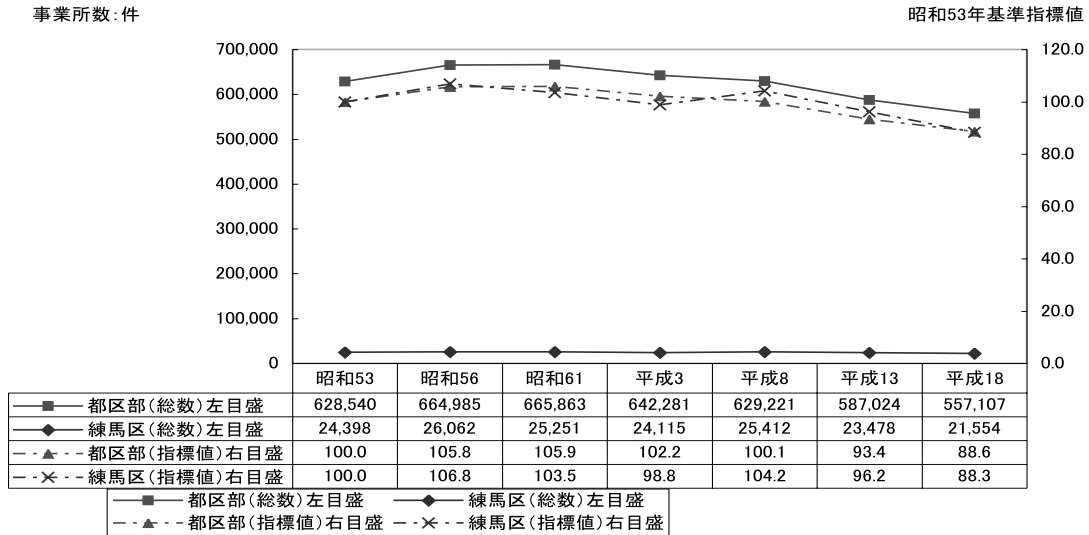
出典) 東京都総務局統計部「平成18年事業所・企業統計調査報告書」より作成

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策322 中小企業の経営を支援する

事業所数は区部全体とほぼ同様のペースで減少している

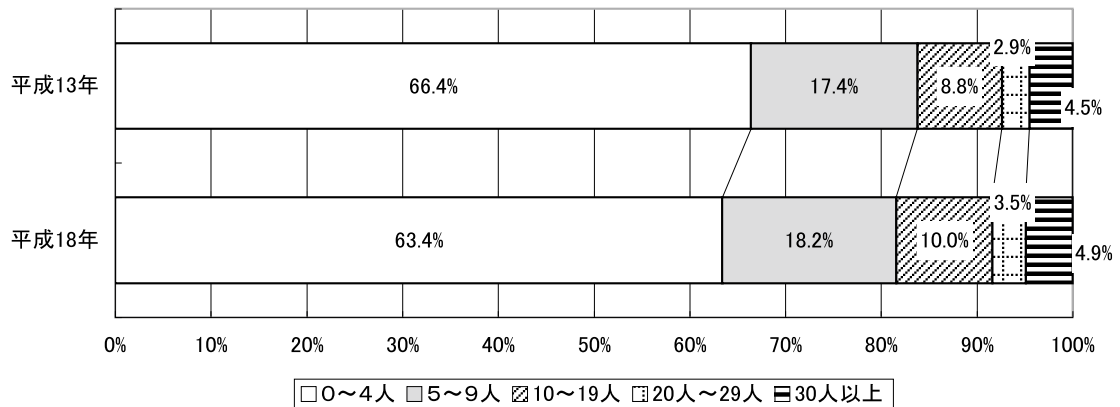
図表 3-12 練馬区(練馬区)の事業所数の推移



出典) 東京都「事業所・企業統計調査」より作成

従業員4人以下の小規模事業所が大部分を占めるが、その割合は低下している

図表 3-13 練馬区(練馬区)の事業所の従業員規模別割合

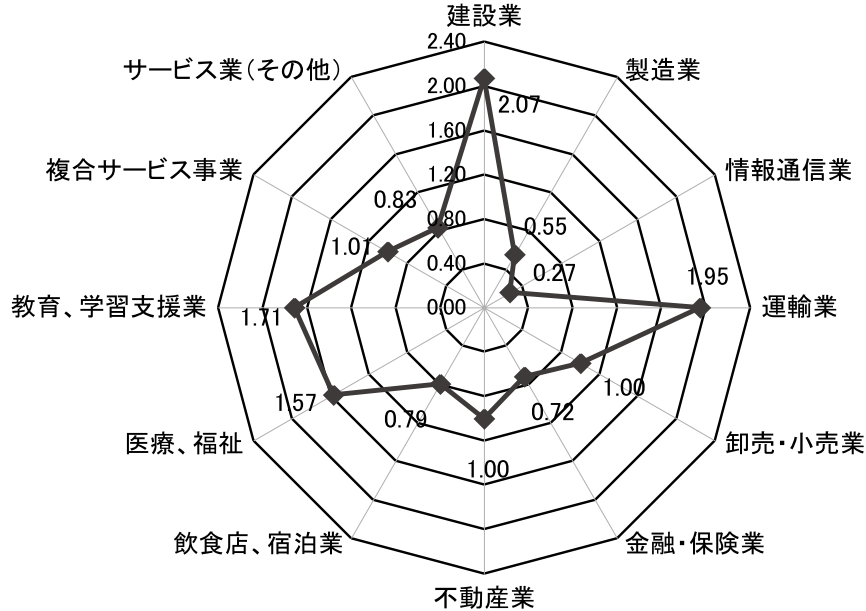


出典) 東京都「事業所・企業統計調査」より作成

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

産業大分類では建設業、運輸業、教育・学習支援業、医療福祉等の事業所が多い

図表 3-14 練馬区の大分類別事業所の特化係数（平成18年）

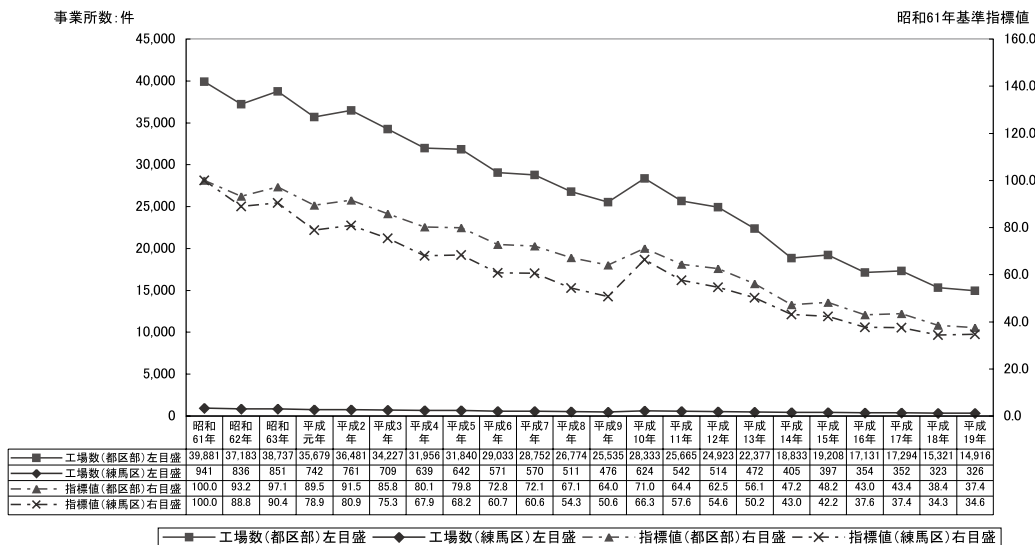


注) 産業分野の特化係数＝練馬区における全事業所数に占める各産業分野の事業所数の割合÷都区部における全事業所数に占める各産業分野の事業所数の割合。

事業所数の少ない「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「公務」の特化係数は掲載していない
出典) 東京都「事業所・企業統計調査」より作成

工場数は都区部全体と概ね同様のペースで減少傾向にある

図表 3-15 練馬区の工場数の推移

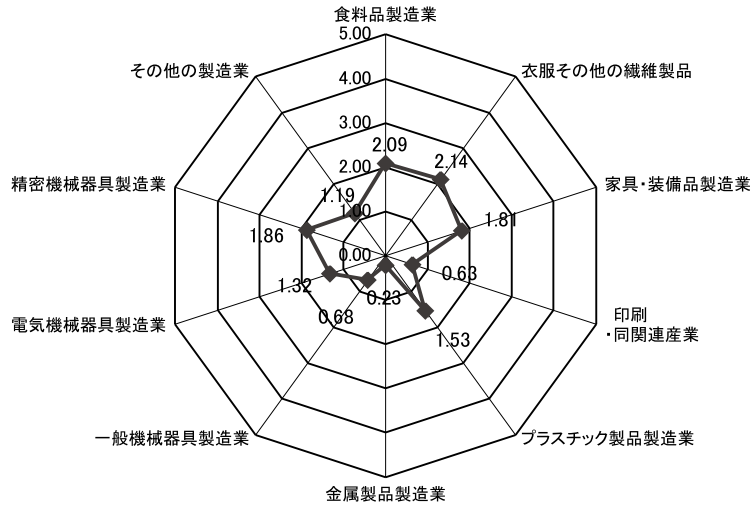


注) 統計の都合上、従業員4人以上の工場のみ
出典) 東京都「東京の工業」より作成

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

業種別工場割合は、都区部全体と比較して食品製造業、精密機械器具製造業、家具・装備品製造業等などの割合が高くなっている

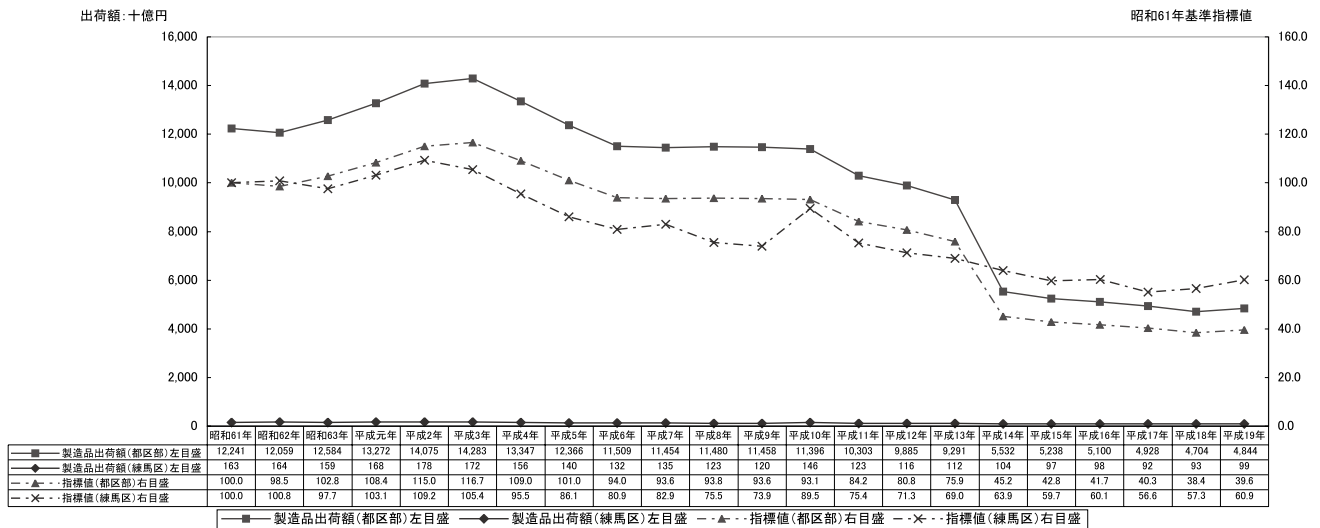
図表 3-16 練馬区の産業中分類別工場数の特化係数（平成19年）



出典) 東京都「東京の工業」より作成

工業出荷額は、平成10年以降減少していたが、平成18年以降増加に転じている

図表 3-17 練馬区における工業出荷額の推移



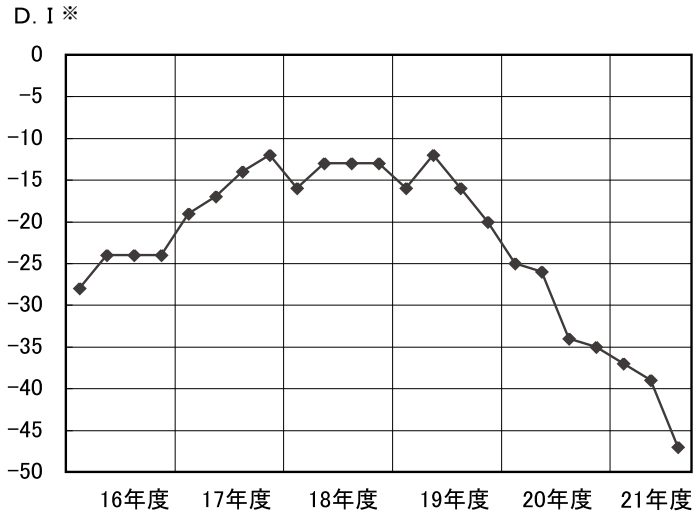
注) 出荷額は、億の位を四捨五入して表示している

出典) 東京都「東京の工業」より作成

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

中小企業の景況感は平成19年度以降急速に悪化している

図表 3-18 練馬区中小企業の景況（四半期ごと）

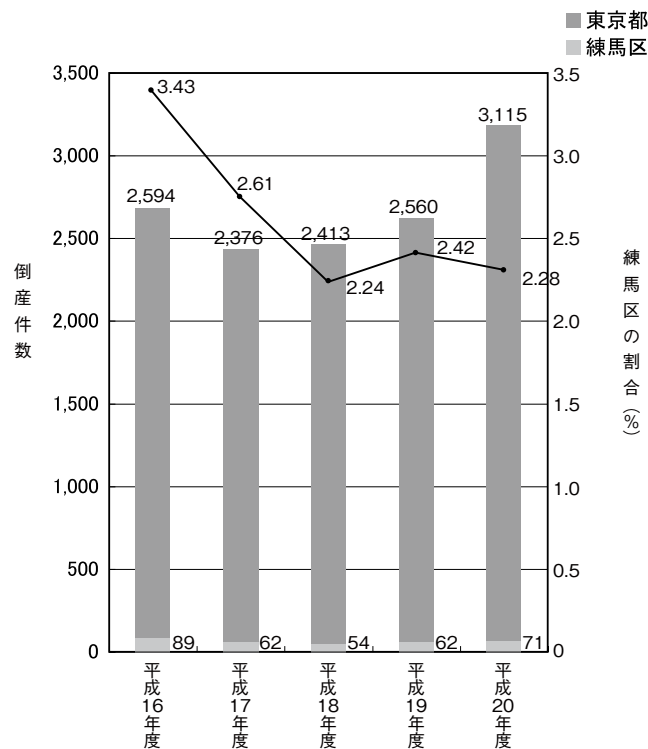


※D. I :Diffusion Index (デフュージョン インデックス) の略。増加 (または「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (または「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差し引いた数値のことで、企業の景況感を表すもの。

出典) 練馬区中小企業の景況 (社団法人 東京都信用金庫協会調査)

企業倒産件数は東京都、練馬区とも近年増加している

図表 3-19 都の倒産件数に占める練馬区の倒産件数の割合 (負債額1千万円以上)



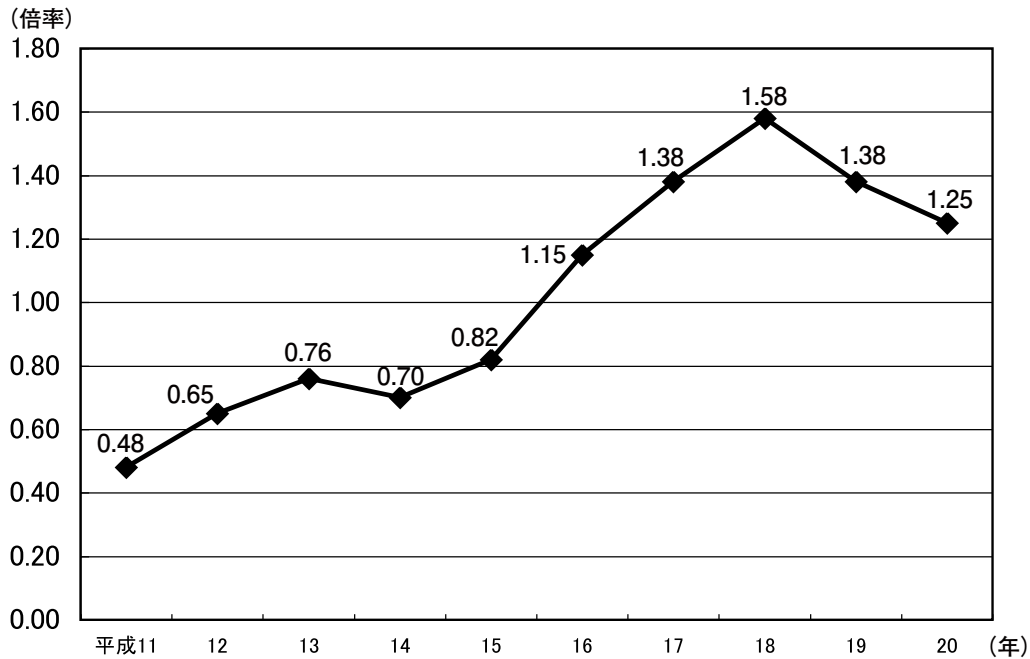
出典) (株) 東京商工リサーチ

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策323 中小企業の勤労者と就労を支援する

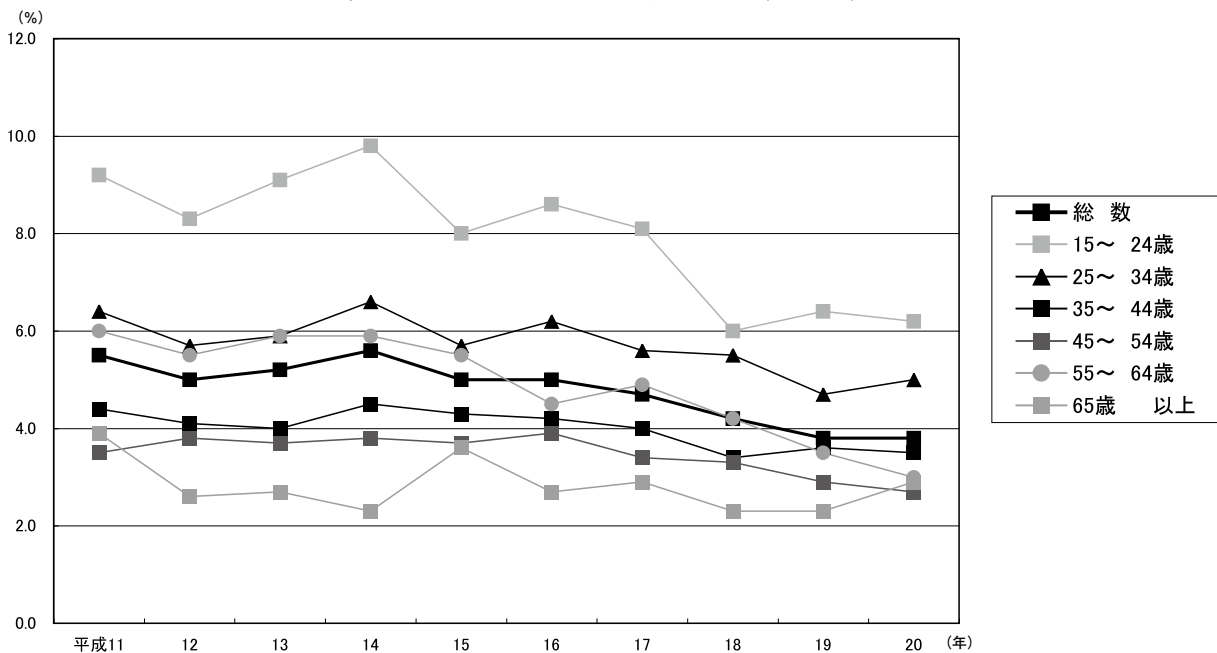
都内の有効求人倍率は平成18年をピークに低下している一方、完全失業率は平成18年まで低下傾向にあったものが横ばいに転じた

図表 3-20 都内有効求人倍率の推移



出典) 東京都「月刊東京の産業・雇用就業統計」

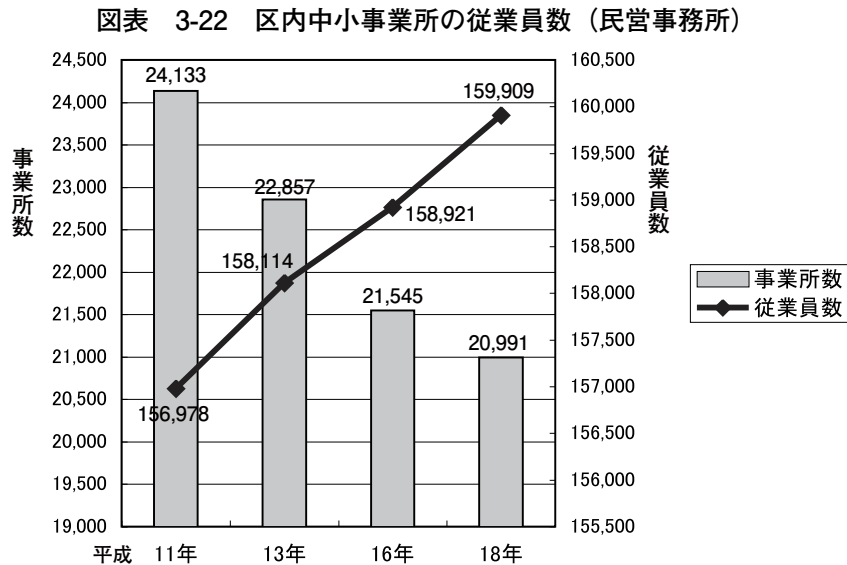
図表 3-21 都内完全失業率の推移 (年齢別)



出典) 東京都「東京の労働力」

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

区内中小事業者の事業所数は減少しているが、従業員数は増加している

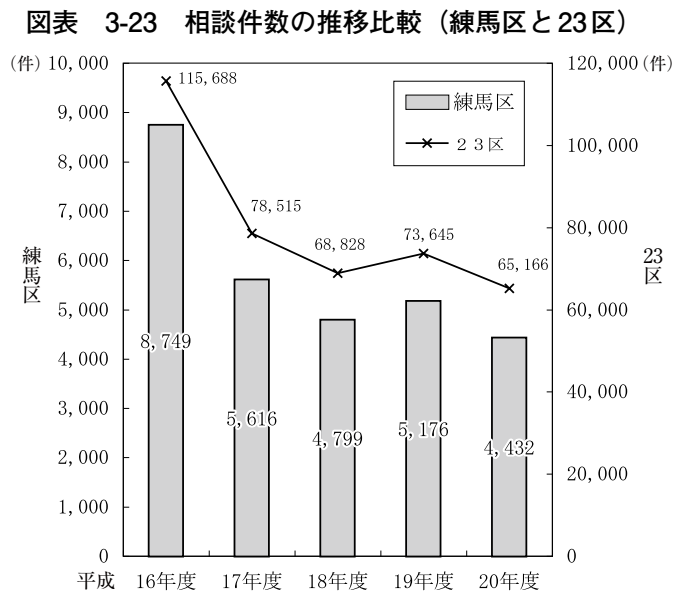


※ 本調査は5年ごと(13年、18年)、11年、16年は簡易調査

出典) 東京都「事業所・企業統計調査」

施策324 消費者の自立を支援する

消費生活相談件数は平成16年度以降減少傾向にあり、平成19年度に一旦増加したが、翌年度には再び減少した



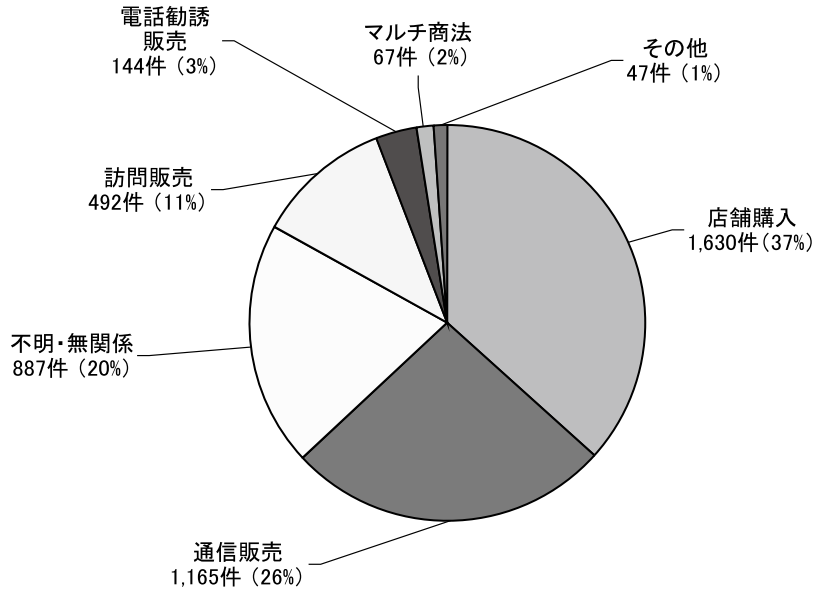
注) 平成16年度の相談件数は、ハガキなどによる架空・不当請求のトラブルが全国で爆発的に増加したことや、高齢者を狙った悪質リフォーム詐欺も表面化したことにより、練馬区においても突出して増大した。その後の相談件数は都内23区全体の経過と同様な増減推移を示している。

出典) 区経済課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

相談内容は店舗での購入や通信販売などに関わる事項が多くを占めている

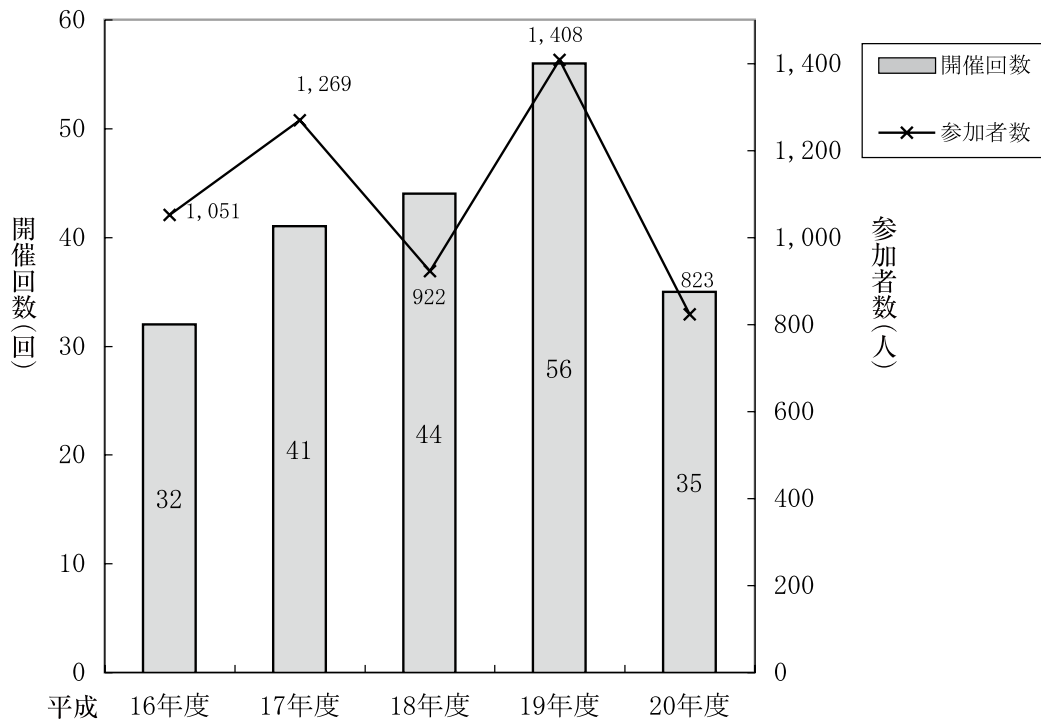
図表 3-24 相談に関わる形態別件数と構成比（平成20年度）



出典) 区経済課資料

消費者講座等の参加者数は、取り上げるテーマや講座の開催規模の違いにより増減している

図表 3-25 消費者講座等の開催回数と参加者数の推移



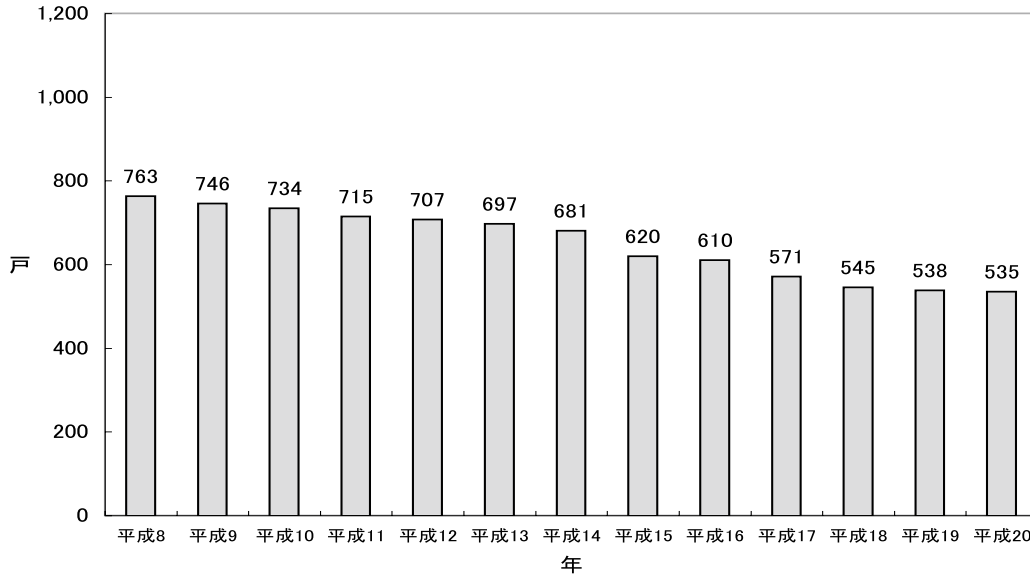
出典) 区経済課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策325 都市農地を保全し都市農業を支援する

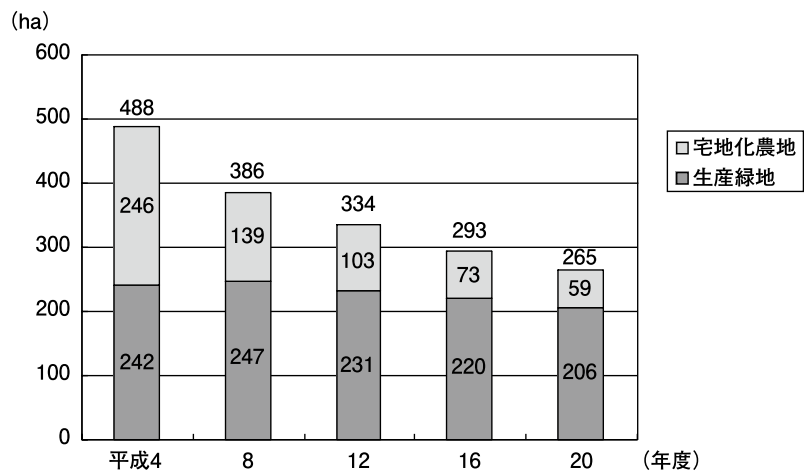
農家戸数、農地面積とも年々減少傾向にある

図表 3-26 練馬区内の農家戸数の推移



注) 経営耕地面積が10a以上であり、年60日以上耕作している農業者がいる区内在住の農家
出典) 区都市農業課資料

図表 3-27 農地面積の推移

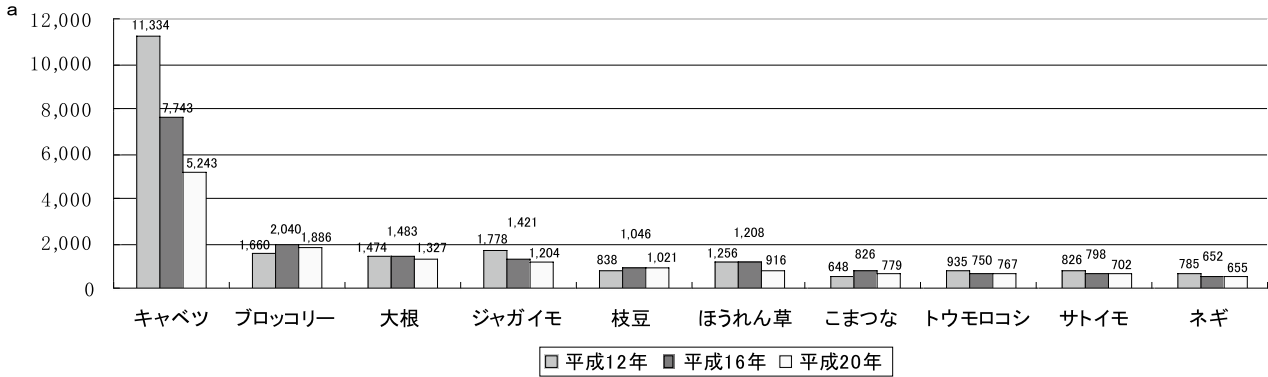


出典) 区都市農業課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

作付面積はキャベツが最も多いが近年減少傾向にある一方、他の品目は安定している

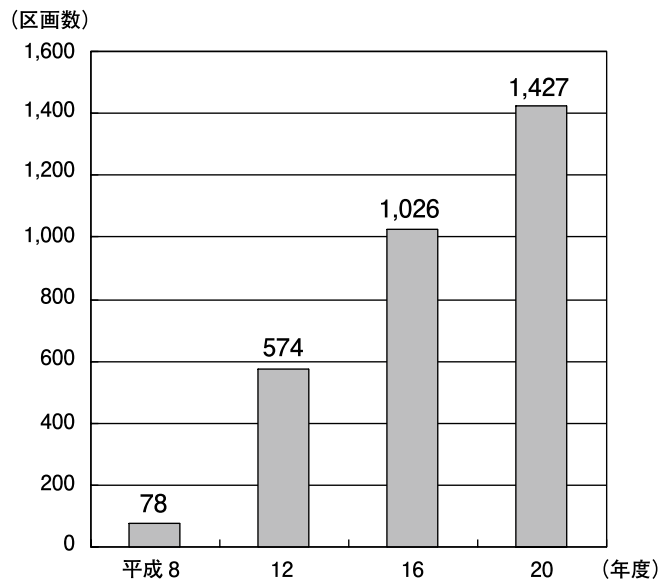
図表 3-28 練馬区内の品目別作付面積の推移



出典) 区都市農業課資料

区民が土に親しみ農業への理解を深める場である農業体験農園は年々増加している

図表 3-29 農業体験農園区画数の推移



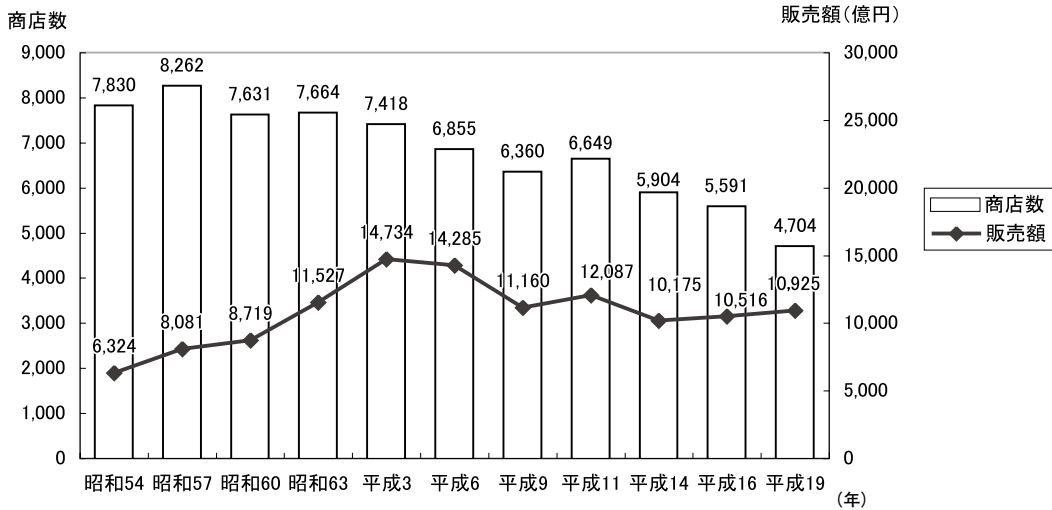
出典) 平成 20 年度農業経営実態調査

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策326 魅力的な商店街づくりを進める

商店数（卸売業・小売業計）は減少しているが、販売額は平成14年以降は微増傾向である

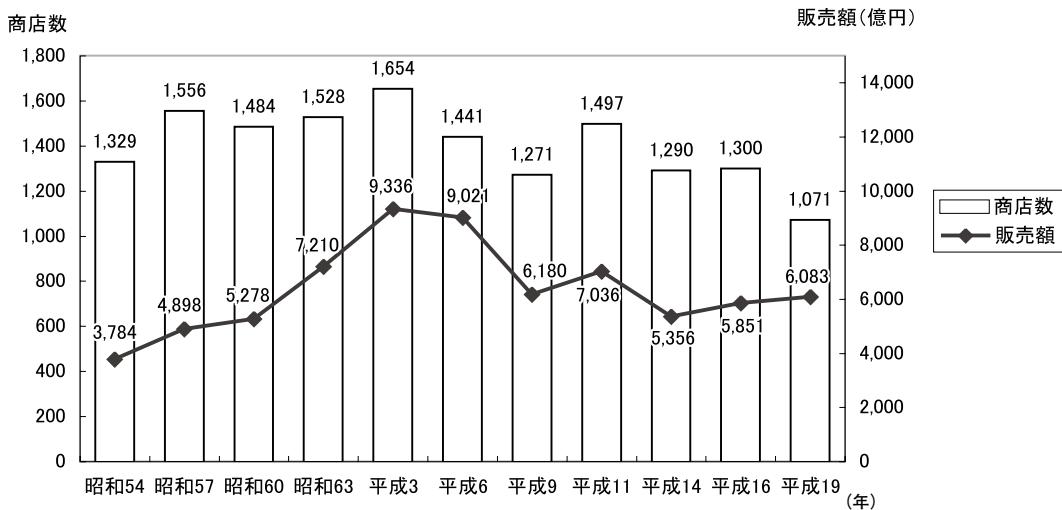
図表 3-30 練馬区の商店数と販売額の推移



出典) 経済産業省「商業統計」より作成

卸売業の商店数は近年減少しているが、販売額は平成14年以降微増傾向にある

図表 3-31 練馬区の卸売業商店数と販売額の推移

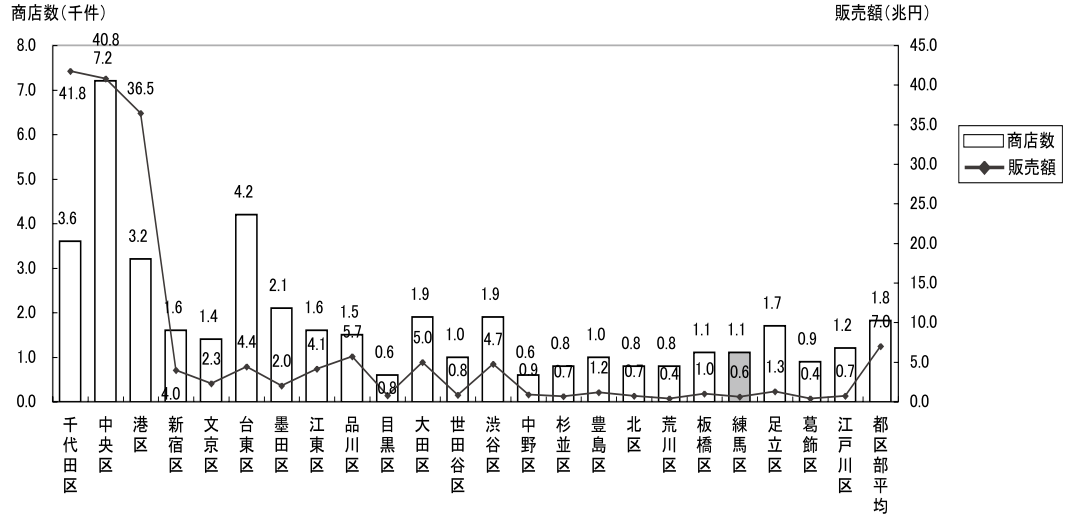


出典) 経済産業省「商業統計」より作成

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

練馬区の卸売業は商店数、販売額とも都区部の中では比較的低い水準にある

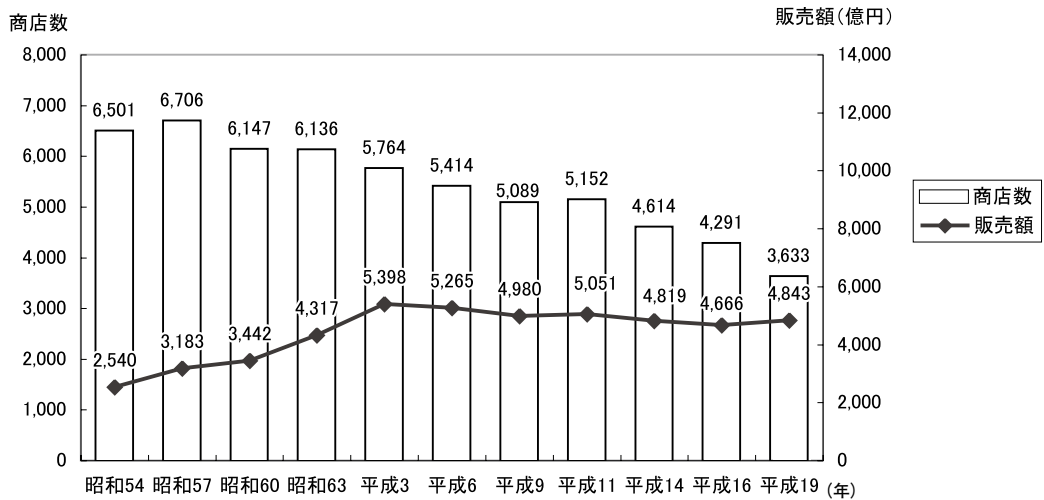
図表 3-32 都区部の卸売業商店数と販売額の比較（平成19年）



出典) 経済産業省「商業統計」より作成

小売業の商店数は近年減少しているが、販売額は平成14年以降概ね横ばい傾向にある

図表 3-33 練馬区の小売業商店数と販売額の推移

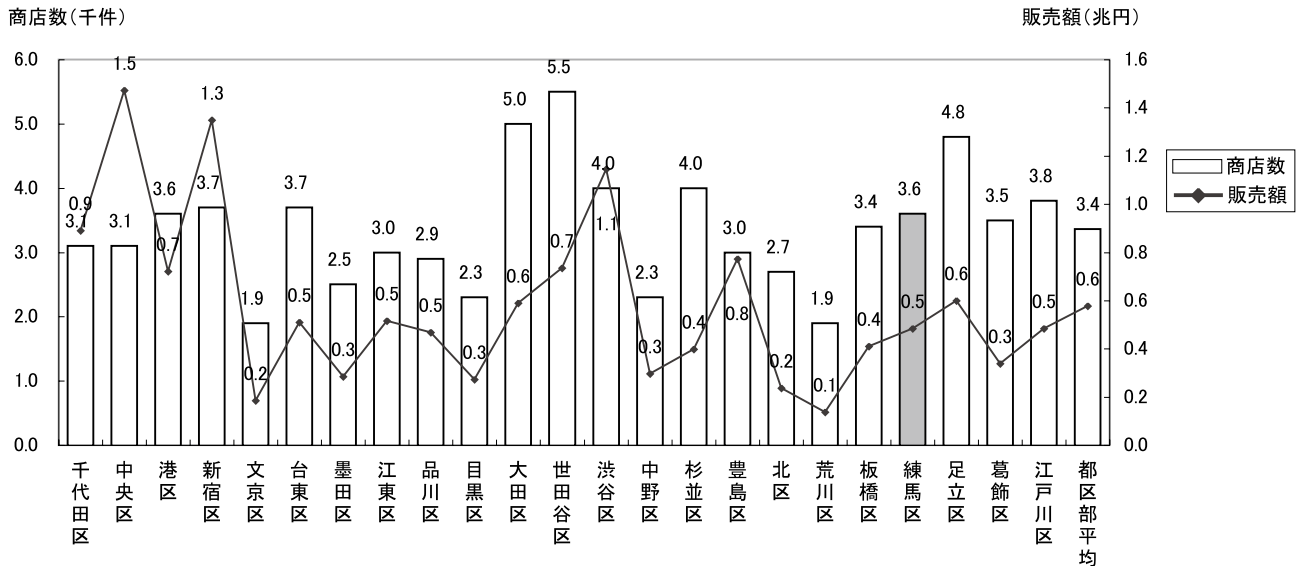


出典) 経済産業省「商業統計」より作成

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

練馬区の小売業は、都区部の中では商店数、販売額とも概ね平均的な水準である

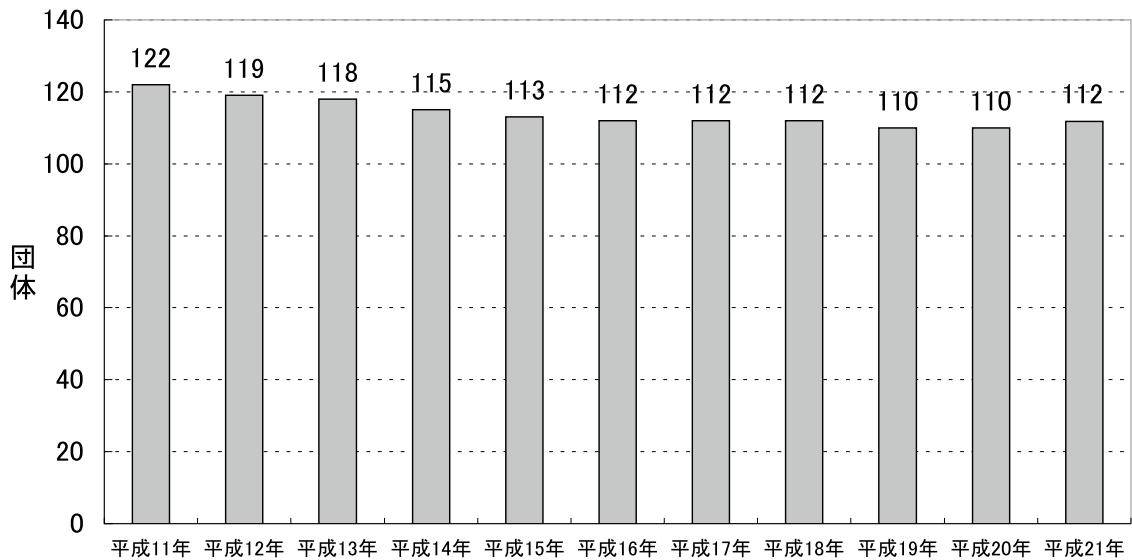
図表 3-34 都区部の小売業商店数と販売額の比較（平成19年）



出典) 経済産業省「商業統計」より作成

商店会数は減少傾向にあったが、平成16年以降は概ね安定している

図表 3-35 練馬区の商店会数の推移

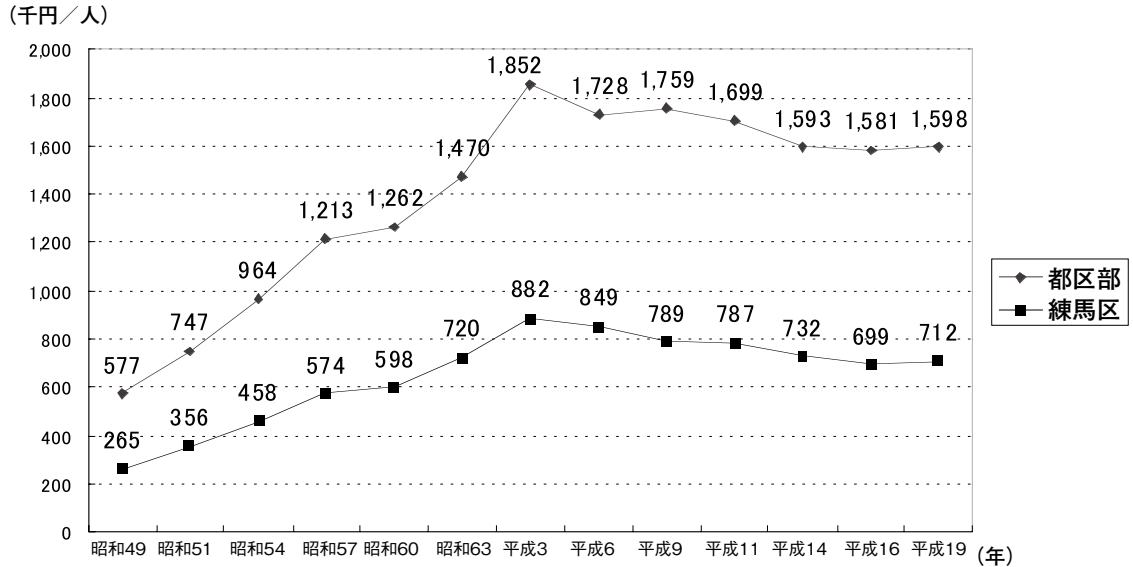


出典) 区商工観光課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

練馬区の人口一人当たり小売販売額は都区部を下回っており、近年は概ね横ばい傾向にある

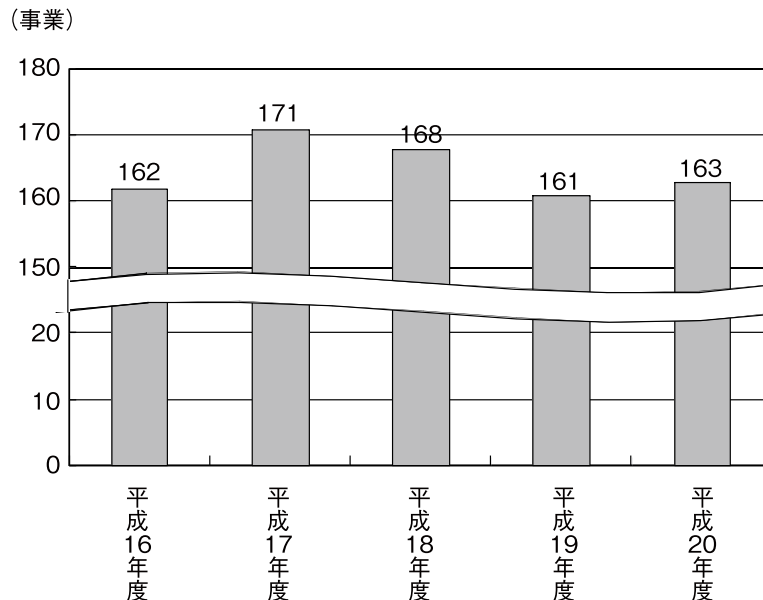
図表 3-36 練馬区の人口一人当たり小売販売額の推移



出典) 経済産業省「商業統計」、総務省「住民基本台帳人口要覧」より作成

商店街におけるイベント事業の実施数は平成19年度以降上昇傾向にある

図表 3-37 商店街におけるイベント事業の実施数の推移



出典) 区商工観光課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策327 まち歩き観光を推進する

ブランド化や観光スポットの紹介などの観光振興事業が実施されている

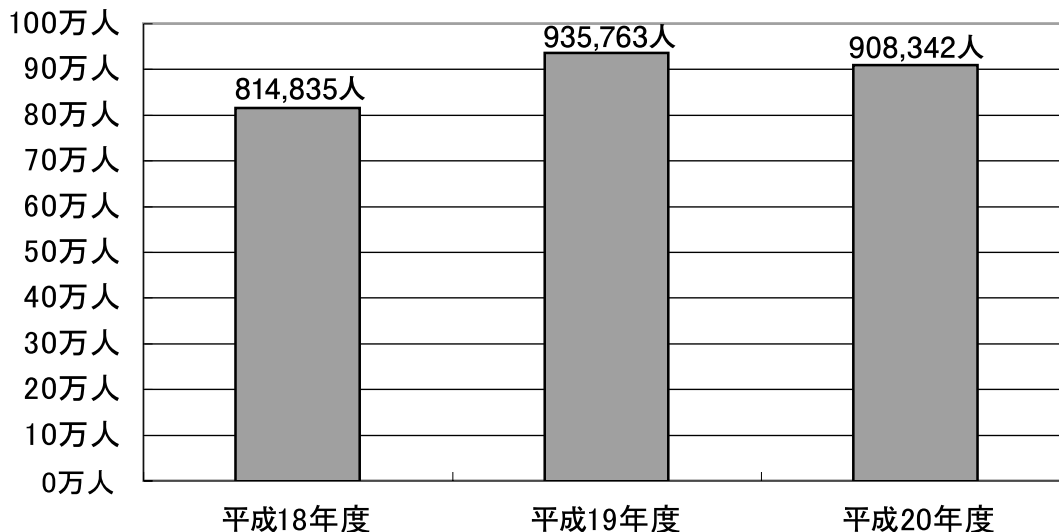
図表 3-38 練馬区の主要な観光振興事業（平成20年度実施分）

事業名	目的	事業概要
練馬区にちなんだ商品事業	練馬区の地名、歴史、伝説などにちなんだ、練馬区のイメージが浮かぶアイデアあふれる商品（愛称：ねりコレ）を発掘し、区の名物となるよう区内外にPRし、観光振興と地域経済の活性化を図る。	自薦・他薦により応募された商品を調査して練馬区にちなんだ商品（愛称：ねりコレ）を選定する。選定された商品と商品に関連した観光スポットを掲載したパンフレットを作成し、区内外で配布する。また、区のイベント等にも出店して販売・PRを行う。
観光ポイント巡り事業	まち歩き観光の推進と地域経済の活性化のため、観光ポイント巡りを実施する。観光ポイントを巡ることにより、練馬区の再発見につなげるとともに、地域の商店街を利用することで商店街への集客を図る。	まち歩きを楽しむとともに、商店街への回遊を促すために、お花見散歩コース、お花見見どころ、観光ポイント等を掲載したマップを配布する。 マップを利用して観光ポイントを巡り、区内商店街で食事や買い物を楽しんでもらう。実施期間中に区内商店街で買い物をし、レシートを応募ハガキに貼付し応募すると、抽選でプレゼントが当たる。
観光ガイドマップ作成事業	練馬区の魅力を区内外に発信し、まち歩き観光の推進を図る。	区内の観光スポットを掲載した観光ガイドマップを作成し、配布する。
観光ガイド事業	区内観光スポットを巡るコースを、区民ガイドが作成し案内するまち歩きイベントを実施し、まち歩き観光を推進するとともに、地域経済の活性化を図る。	観光ガイド養成講座を開催し、区民が観光ガイドとしてのスキルの習得、コースの作成、実踏などを行う。 観光ガイド養成講座受講者による、まち歩きイベント「ねりまのねり歩き」を開催する。

出典) 区商工観光課資料

主なまち歩き観光スポット※の来場者数は、練馬区独立60周年記念事業等で大きく増加した平成19年度を除き、平成18年度と比較して増加している

図表 3-39 主なまち歩き観光スポットの来場者数



※ 観光スポット：観光施設（練馬区観光案内所、東映アニメーションギャラリー）、公園等（向山庭園、花とみどりの相談所、牧野記念庭園）、文化・歴史施設（練馬文化センター、練馬区立美術館、ちひろ美術館・東京）、イベント（練馬まつり、照姫まつり、アニメカーニバル）

出典) 区商工観光課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

政策33

文化芸術・生涯学習、スポーツ活動を活発にする

施策331 区民の文化芸術・生涯学習活動を支援する

練馬文化センターと大泉学園ホールを合わせて、年間約55万人の入場者がある

図表 3-40 練馬文化センターおよび大泉学園ホールの利用実績

区分	施設名	大ホール	小ホール	ギャラリー	リハーサル室 (3)	集会室(和・ 洋)	計
入場者数(人)		249,970	129,340	28,506	58,279	20,238	486,333
利用件数(件)		662	747	132	2,403	1,258	5,202
利用率(%)		68.5	77.5	40.8	82.6	64.9	73.3
主催者別 利用件数	教育機関	158	60	1	161	23	403
	登録文化団体	16	18	0	209	80	323
	官公署	11	7	0	2	0	20
	音楽団体	34	49	0	168	6	257
	音楽教室	0	18	0	3	0	21
	劇団	7	35	0	0	0	42
	バレエ・洋舞団体	63	91	0	495	28	677
	邦楽・邦舞団体	6	33	0	57	38	134
	興行団体	26	7	4	1	0	38
	鑑賞団体	25	0	0	0	0	25
	政治・思想・宗教団体	12	1	0	16	38	67
	会社・事務所	21	41	1	41	63	167
	教育・福祉団体	16	34	7	59	28	144
	サークル	33	50	32	265	319	699
	文化振興協会	66	73	0	230	15	384
	練馬区	56	29	8	123	57	273
その他	112	201	79	573	563	1,528	

注：「利用件数」は、午前・午後・夜間の各区分を1件とする。ただし、ギャラリーについては、1日を1件とする。
「利用率」は、利用件数を利用可能件数で除したものである。

区分	施設名	ホール	ギャラリー	計
入場者数(人)		47,351	11,917	59,268
利用件数(件)		891	224	1,115
利用率(%)		90.1	65.5	83.8
主催者別 利用件数	教育機関	24	7	31
	登録文化団体	0	0	0
	官公署	24	0	24
	音楽団体	207	0	207
	音楽教室	88	0	88
	劇団	0	0	0
	バレエ・洋舞団体	1	0	1
	邦楽・邦舞団体	4	0	4
	興行団体	0	0	0
	鑑賞団体	0	0	0
	政治・思想・宗教団体	1	0	1
	会社・事務所	14	2	16
	教育・福祉団体	4	0	4
	サークル	28	26	54
	文化振興協会	23	0	23
	練馬区	23	0	23
その他	450	189	639	

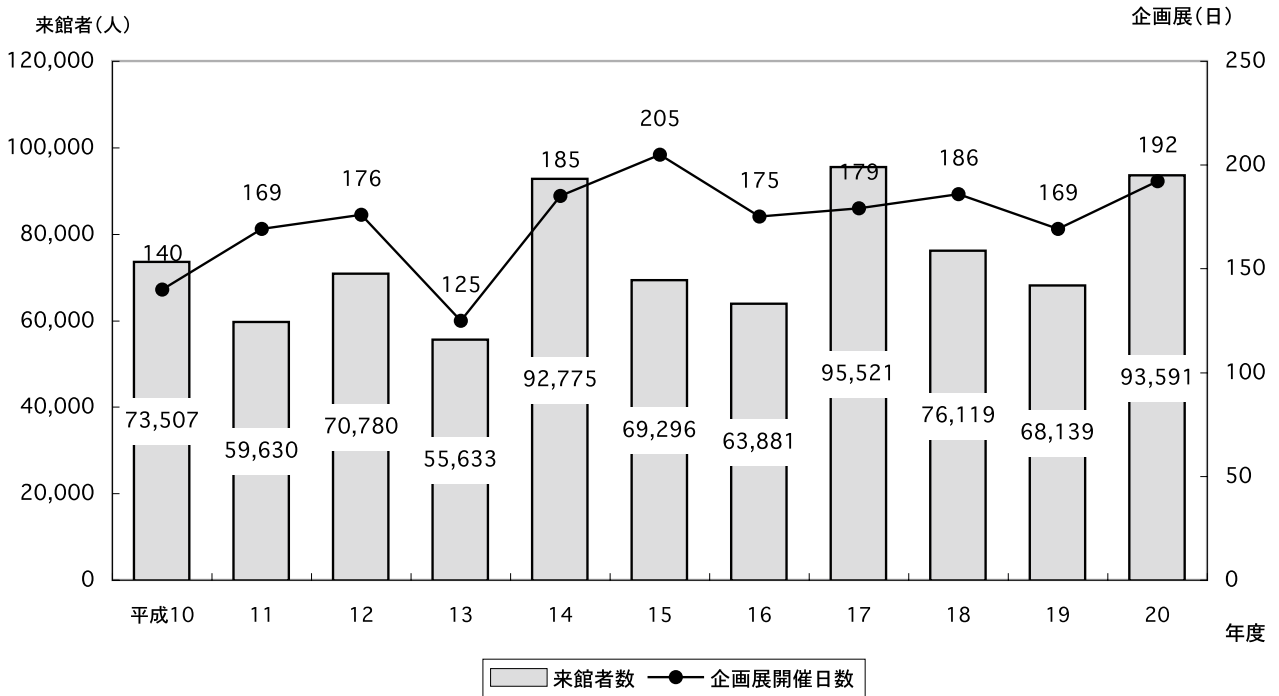
注：「利用件数」は、午前・午後・夜間の各区分を1件とする。ただし、ギャラリーについては、1日を1件とする。
「利用率」は、利用件数を利用可能件数で除したものである。

出典) 区文化国際課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

美術館の年間来館者数は5万6千人弱から9万6千人弱で推移している

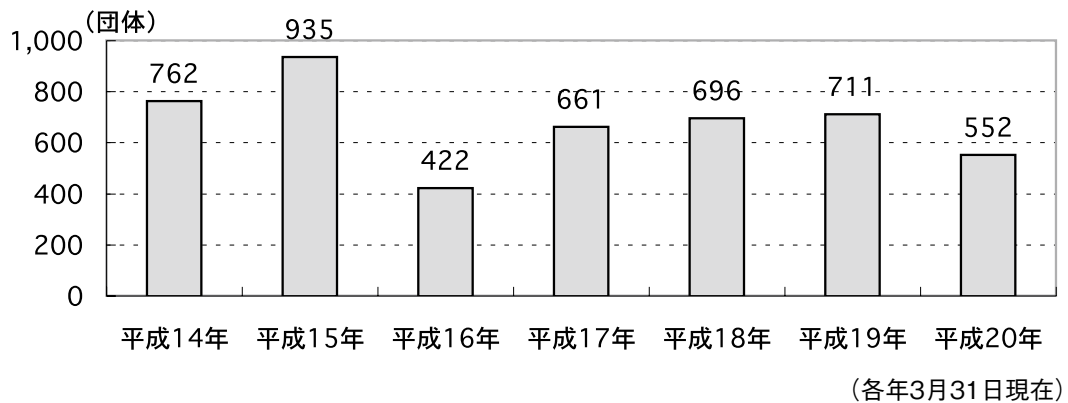
図表 3-41 美術館来館者数および企画展開催日数



出典) 区生涯学習課資料

平成20年時点で552団体が生涯学習団体として区に届出をしている

図表 3-42 生涯学習団体(届出数)

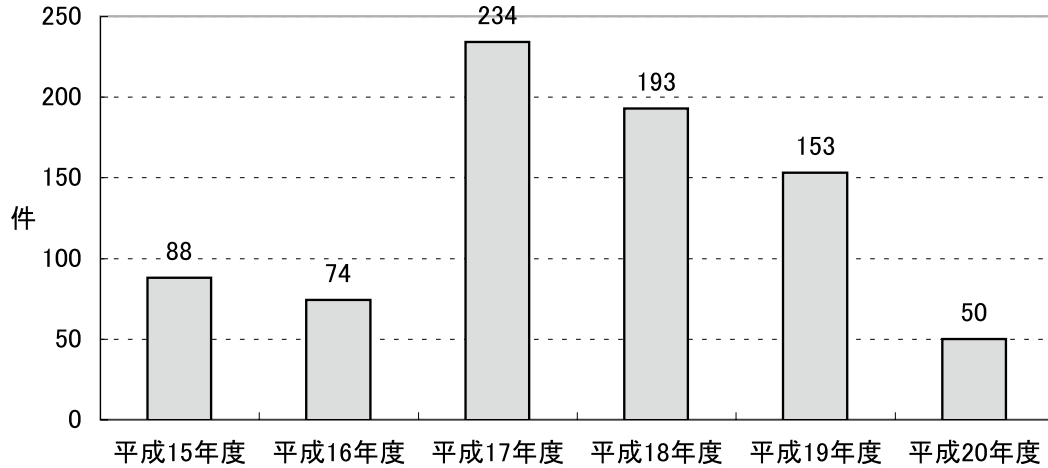


出典) 練馬区教育要覧

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

生涯学習に関する相談件数は平成17年度をピークに減少傾向にある

図表 3-43 生涯学習相談件数



出典) 練馬区教育要覧

地域団体の企画・運営による多様な講座が実施されており、平成17年度以降、1万4千人前後が参加している

図表 3-44 ねりま遊遊スクール開催状況

	ねりま遊遊スクール(子どもの居場所)			ねりま遊遊スクール(子どもによる講座づくり)		
	講座数	開催回数	延参加者数	講座数	開催回数	延参加者数
平成14年度	266	-	12,594	11	33	1,400
平成15年度	379	-	18,206	10	23	597
平成16年度	251	425	20,688	12	24	465
平成17年度	403	427	14,018	15	31	616
平成18年度	406	415	14,136	10	20	340
平成19年度	393	400	13,067	5	10	192
平成20年度	406	416	13,855	6	11	310

出典) 練馬区教育要覧

さまざまな人権学習事業が実施されており、平成18年度を除き、約9百~千人が参加している

図表 3-45 人権学習事業の実施状況

	人権セミナー		子どものための人権人形劇		青少年のための人権講座		人権週間記念講演と映画の集い	地域交流促進事業	
	延人数	開催回数	延人数	開催回数	延人数	開催回数	参加者数	参加者数	開催回数
平成16年度	173	9	110	2	150	1	450	101	5
平成17年度	153	9	46	2	300	3	270	135	7
平成18年度	278	9	111	2	108	1	1,100	117	6
平成19年度	219	8	120	2	186	1	396	114	6
平成20年度	132	7	143	2	62	1	454	106	5

出典) 区生涯学習課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

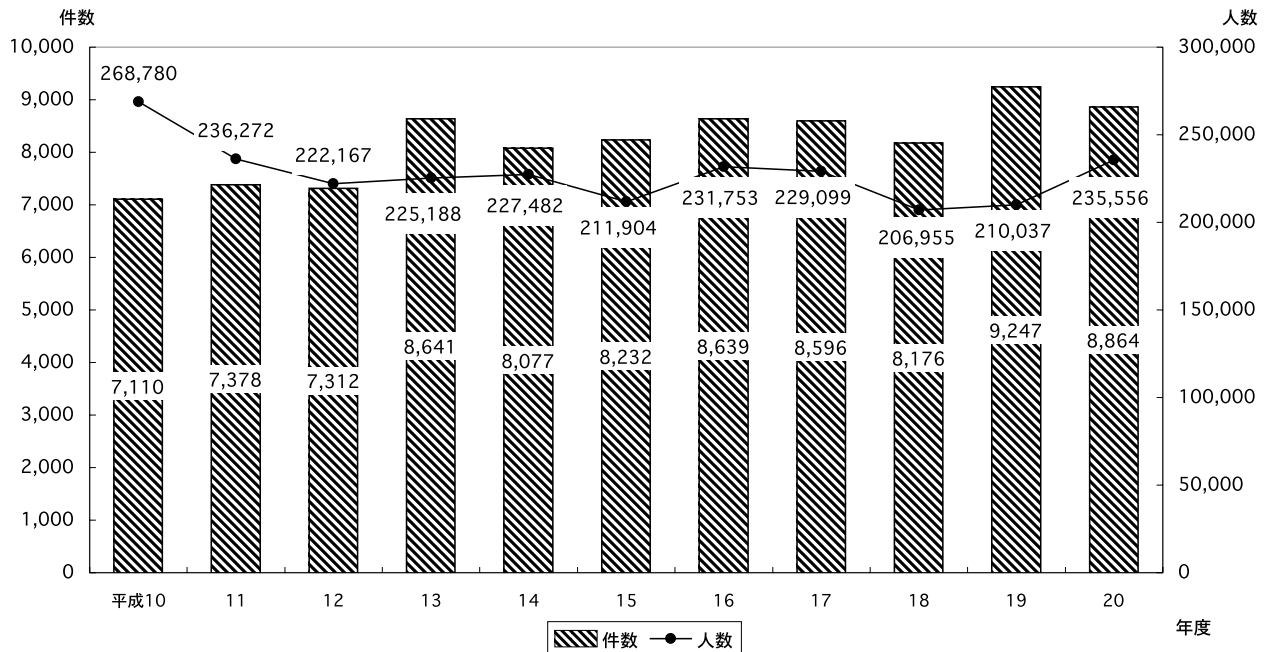
公民館では多様な事業が実施されており、利用人数は平成18年度以降増加傾向にあり、利用件数も堅調に推移している

図表 3-46 公民館の事業実施状況（平成20年度）

事業名	実施状況
区民大学	12 講座延べ 2560 人
寿大学	65 歳以上対象、年 2 回延べ 4598 人
寿大学通信講座	60 歳以上対象、書道俳句の 2 科目、延べ 6477 人
寿大学通信講座スクーリング	講師による直接指導、年 3 回延べ 233 人
寿大学通信講座書初め展	年 1 回 248 点
児童合唱団	毎週土曜日練習、演奏会 4 回
視聴覚事業	名画鑑賞会、こどもえいがかい、45 回延べ 5663 人
サークル文化祭	年 1 回延べ 1603 人
区民文化祭	年 1 回延べ 12406 人
芸術鑑賞会	年 7 回延べ 1527 人
公開講座	7 講座、延べ 947 人
国際理解推進講座	1 講座、延べ 657 人
サポーターズ講座	料理講座 17 講座、一般講座 11 講座、延べ 2151 人

出典) 区生涯学習課資料

図表 3-47 公民館の利用状況



出典) 区生涯学習課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

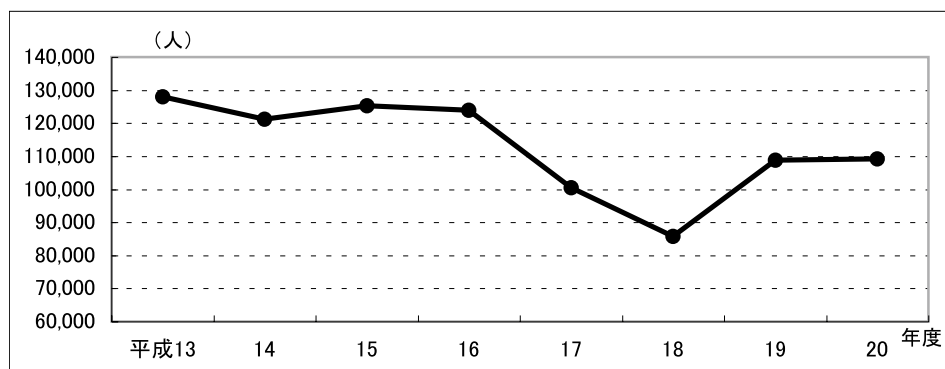
青少年館では多様な事業が実施されており、施設改修の影響があった平成18年度を除き、10万人以上の利用がある

図表 3-48 青少年館別団体利用件数および人数

平成・年度		13	14	15	16	17	18	19	20
春日町	件数	5,603	5,254	5,806	5,846	5,935	4,555	6,354	6,106
	人数	94,570	86,428	88,574	87,858	76,504	57,634	80,868	81,257
南大泉	件数	3,403	3,305	3,289	3,255	3,274	3,418	3,415	3,626
	人数	33,478	34,771	36,793	35,997	23,927	28,168	27,882	27,921
合計	件数	9,006	8,559	9,095	9,101	9,209	7,973	9,769	9,732
	人数	128,048	121,199	125,367	123,855	100,431	85,802	108,750	109,178

出典) 練馬区教育要覧

図表 3-49 青少年館利用状況



出典) 練馬区教育要覧

II. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

図表 3-50 平成20年度の青少年館の事業内容

事業名	概要	延参加者数	開催回数	
心身障害者 青年学級	ともしび青年学級	15歳以上の中・重度の知的障害がある青年を対象とした学級	488	11
	あすなろ青年学級	15歳以上の肢体不自由な青年を対象とした学級	277	11
	日曜青年教室	15歳以上の軽度の知的障害がある青年を対象とした学級	643	11
	ひまわり青年学級	15歳以上の中・重度の知的障害がある青年を対象とした学級	365	11
野外活動	自然観察会	小学3年生～中学3年生を対象に2泊3日の宿泊観察	41	1
学習室開放	常設学習室(春日町)			
	会議室開放(春日町)	青少年を対象に、土日祝日、夏冬休みに実施		
	臨時学習室			
	教室開放(南大泉)	青少年を対象に臨時開催		
文化教養講座	親子deクッキング	小学生と保護者が一緒に季節の料理とデザートを作る。	28組57人	2
	青少年将棋コーナー	青少年と大人の将棋を通じての交流	294	28
	書道クラブ(南大泉)	小学3年生～小学6年生を対象	345	16
	折紙教室	小学2年生～小学6年生を対象	84	4
	和風づくり教室	小学1年生～小学6年生を対象	8	1
	おもしろ実験ゼミナール	小学4年生～小学6年生を対象	41	3
	開放ダンス講座	既にダンスをやっている青年や初心者の青年が、フリーに参加し、ダンスを通して交流を深める。	267	19
	集中ダンス講座	ダンスに興味のある若者が、ダンスを集中的に学ぶ。	159	8
	青年自主企画 囲碁入門講座		71	4
	青年自主企画 基礎から学ぶ フットサル教室	フットサルのルールや基本技術を身につけ、ミニゲームを行い、新しい仲間をつくる。	51	4
スポーツ講座	(夏)子ども体操教室 (春日町)	跳び箱・マット・鉄棒等を使って楽しく体操をする。	129	4
	(春)子ども体操教室 (春日町)	跳び箱・マット・鉄棒等を使って楽しく体操をする。	145	4
	(春)子ども体操教室 (南大泉)	跳び箱・マット・鉄棒等を使って楽しく体操をする。	153	6
	(秋)子ども体操教室 (南大泉)	跳び箱・マット・鉄棒等を使って楽しく体操をする。	163	6
演劇活動	児童劇教室	演劇の基礎を学び、寸劇を創作する。	176	6
	練馬児童劇団	児童劇教室の修了生による劇団。	857	42
文化祭	こどもフェスティバル	幼児から小学生までを対象とした交流と遊びの機会を提供。	272	1
	サークル合同発表会 (作品展示・ダンス等)	青少年館主催教室の卒業生等による発表会。	694	1
	サークル合同発表会 (バレーボール大会)	青少年館主催教室の卒業生等による発表会。	157	1
	青少年館まつり	若者の発表の場、交流の場としてのお祭りを開催。	352	1
レクリエーションホール開放	こどもスポーツ	小中学生を対象とした施設の開放	724	47
	春休みこどもフリー スポーツ①	春休みの木曜日を除く平日に青少年が自由に卓球、バドミントン、バスケットを楽しめるようにレクホールを開放する。	50	5
	夏休みこどもフリー スポーツ	夏休み期間中の木曜日を除く平日に青少年が自由に卓球やバドミントンを楽しめるようにレクホールを開放する。	225	23
	春休みこどもフリー スポーツ②	春休みの木曜日を除く平日に青少年が自由に卓球やバドミントンを楽しめるようにレクホールを開放する。	16	3
	親子スポーツ	親子を対象とした施設の開放	819	47
	青年スポーツ (バレーボール)	青年が一人でも参加してバレーボールを楽しめるようにレクホールを開放する。	140	10
	こども卓球教室	小中学生を対象とした施設の開放	936	40
	親子卓球教室	親子を対象とした施設の開放	896	40
	こどもけん玉教室	小中学生を対象とした施設の開放	425	11
音楽練習室	利用講習会	音楽練習室の利用にあたって事前に講習会を受講する。	66	12
わかものスタート支援 事業 (メディアリテラシー講座)	パソコン実務基礎講座	15歳～39歳を対象に実施	1500	54
	パソコン実務応用講座	15歳～39歳を対象に実施	587	13
	パソコン保護者向け講座	子供のいる保護者を対象に実施	30	5
	練就ゼミナール	15歳～39歳を対象に実施	117	5

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

少年自然の家の利用状況は平成18年度以降減少傾向にある

図表 3-51 少年自然の家の利用状況（学校利用を除く）（単位：人）

	武石少年自然の家		岩井少年 自然の家	下田少年 自然の家	軽井沢少年 自然の家
	本館	新館			
平成10年度	6,438	7,426	3,857	2,117	21,970
平成11年度	6,750	7,267	3,557	1,705	21,886
平成12年度	6,239	6,183	3,297	1,878	20,778
平成13年度	6,285	6,365	3,466	2,181	21,624
平成14年度	7,449	8,441	4,264	2,396	21,531
平成15年度	6,090	8,659	3,319	2,578	23,408
平成16年度	5,606	7,747	3,654	2,507	20,632
平成17年度	5,569	7,438	3,121	2,239	22,003
平成18年度	6,580	7,985	4,165	2,090	20,798
平成19年度	6,028	7,506	3,818	2,262	20,894
平成20年度	6,066	6,809	3,429	1,043	18,861

出典) 区生涯学習課資料

総合教育センターでは様々な事業が実施されており、利用者数は近年横ばい傾向にある

図表 3-52 総合教育センターの利用状況（単位：人（ ）内は%）

	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
公用(センター主催、官 公署、学校教育)	52469(34.3)	47,479 (31.4)	53,468(33.1)	42,138(33.4)	23,629(31.8)	20,073(29.0)	31,115(35.1)	24,311(30.2)	24,338(30.2)	23,857(30.8)
一般区民団体	90,739(59.4)	94,677(62.6)	99,893(61.8)	76,059(60.3)	43,320(58.2)	41,234(59.5)	46,763(52.8)	46,104(57.2)	46,106(57.3)	45,052(58.2)
個人利用	9,412(6.2)	9,115(6.0)	8,200(5.1)	7,895(6.3)	7,473(10.0)	7,957(11.5)	10,670(12.1)	10,129(12.6)	10,096(12.5)	8,497(11.0)
合計	152,620(100)	151,271(100)	161,561(100)	126,092(100)	74,422(100)	69,264(100)	88,548(100)	80,544(100)	80,540(100)	77,406(100)

注) 平成15年1月センター移転

出典) 区総合教育センター資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

図表 3-53 総合教育センターの事業実施状況

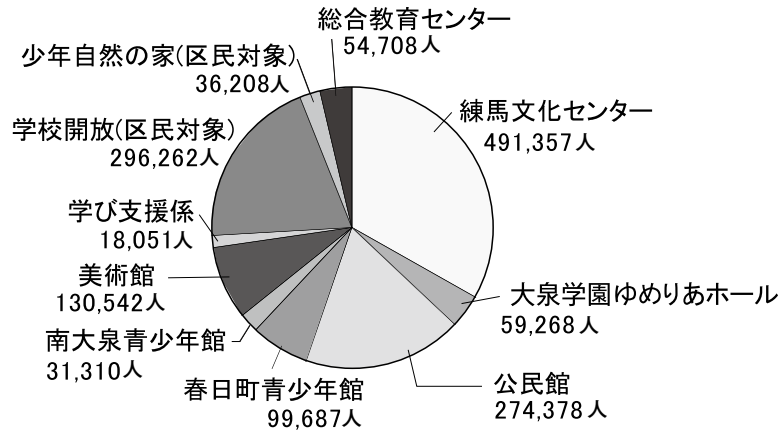
	事業	参加者等	
平成 11年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 385 人、将棋大会 191 人
	子ども映画会	延入場者数	565 人
	夏休み工作室開放		
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	図書室の運営	—	
	地域住民の自主活動への支援	—	
平成 12年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 170 人、将棋大会 104 人
	子ども映画会	延入場者数	483 人
	夏休み工作室開放	延利用者数	49 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	図書室の運営	貸出し冊数	45,002 冊
	地域住民の自主活動への支援	延参加者数	6 事業、3,833 人
平成 13年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 181 人、将棋大会 96 人
	子ども映画会	延入場者数	670 人
	夏休み工作室開放	延利用者数	33 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	図書室の運営	貸出し冊数	43,513 冊
	地域住民の自主活動への支援	延参加者数	7 事業、3,767 人
平成 14年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 201 人、将棋大会 101 人
	子ども映画会	延入場者数	522 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	16 ミリフィルム等の貸出し	16 ミリフィルム貸出し数 ビデオソフト	121 件 (317 点) 2,442 件 (6,887 点)
平成 15年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 183 人、将棋大会 102 人
	子ども映画会	延入場者数	382 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	16 ミリフィルム等の貸出し	16 ミリフィルム貸出し数	98 件 (373 点)
平成 16年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 183 人、将棋大会 118 人
	子ども映画会	延入場者数	209 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	16 ミリフィルム等の貸出し	16 ミリフィルム貸出し数	95 件 (386 点)
平成 17年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 166 人、将棋大会 128 人
	子ども映画会	延入場者数	219 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	16 ミリフィルム等の貸出し	16 ミリフィルム貸出し数	92 件 (344 点)
平成 18年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 131 人、将棋大会 111 人
	子ども映画会	延入場者数	279 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	16 ミリフィルム等の貸出し	16 ミリフィルム貸出し数	80 件 (320 点)
平成 19年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 138 人、将棋大会 116 人
	子ども映画会	延入場者数	225 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	16 ミリフィルム等の貸出し	16 ミリフィルム貸出し数	82 件 (333 点)
平成 20年度	区民囲碁将棋大会	参加者数	囲碁大会 121 人、将棋大会 111 人
	子ども映画会	延入場者数	137 人
	ジュニアオーケストラの運営	—	
	16 ミリフィルム等の貸出し	16 ミリフィルム貸出し数	69 件 (306 点)

出典) 区総合教育センター資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

文化芸術、生涯学習施設利用者数および同事業参加者数は、練馬文化センターが最も多く、次いで学校開放、公民館などが多くなっている

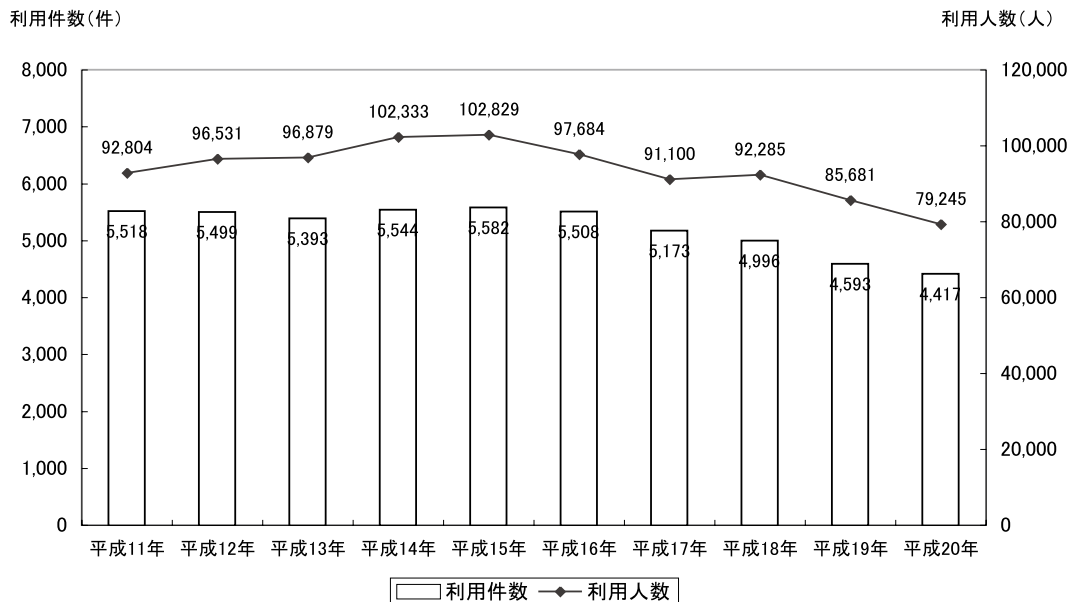
図表 3-54 文化芸術、生涯学習施設利用者数および同事業参加者数（平成20年度：合計1,491,771人）



出典) 区生涯学習課資料

小学校教室開放の年間利用者数は、平成15年度以降減少傾向にある

図表 3-55 教室開放の利用状況

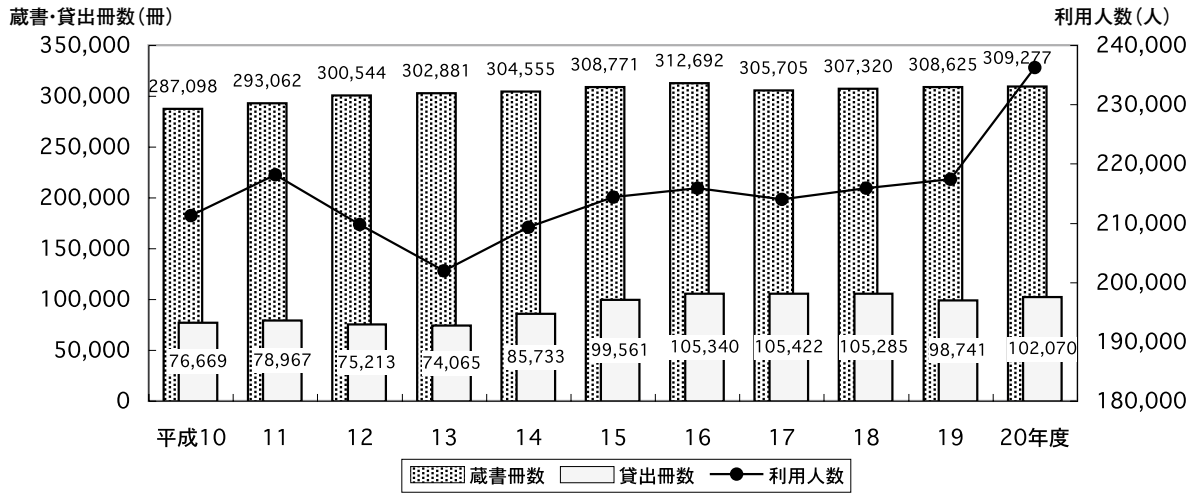


出典) 区生涯学習課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

学校図書館開放の年間利用者は23万人を超え、貸し出し冊数は10万冊を超えている

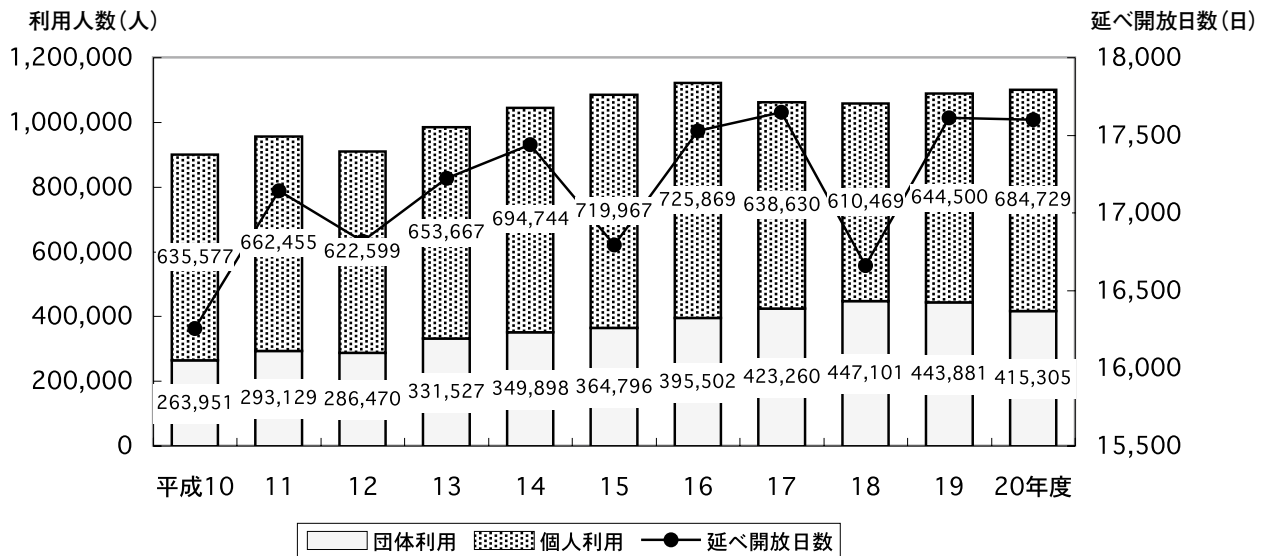
図表 3-56 学校図書館開放の利用状況



出典) 区生涯学習課資料

校庭等の開放は、校庭が100万人、体育館が20万人、プールが7千人をそれぞれ超える利用者がある

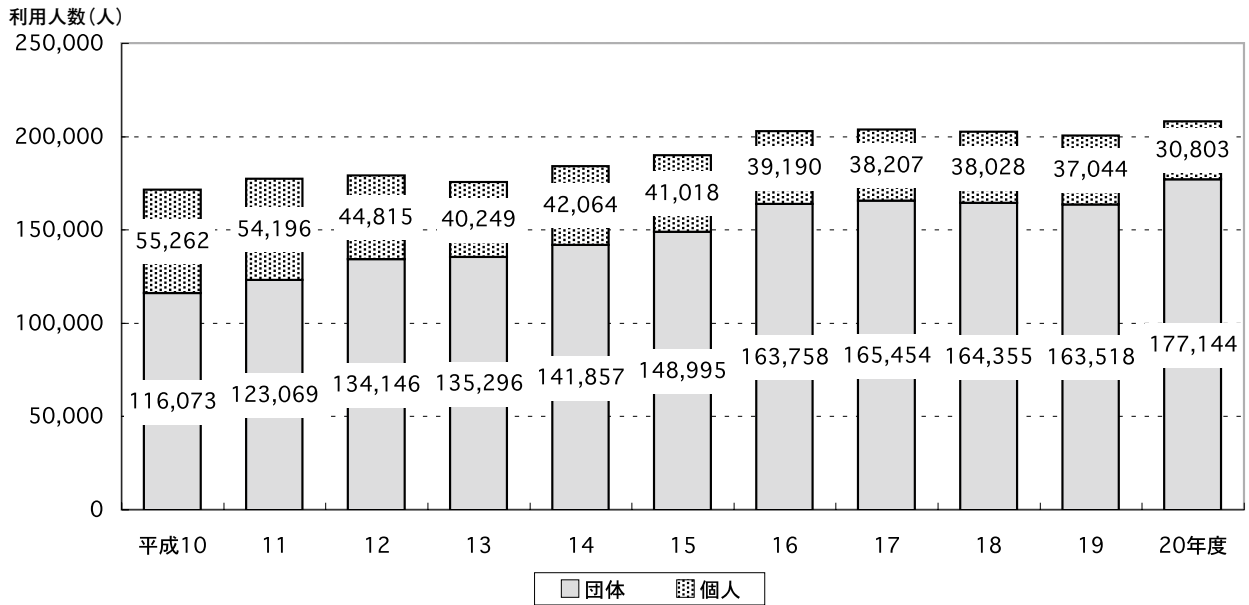
図表 3-57 校庭開放の利用状況



出典) 区生涯学習課資料

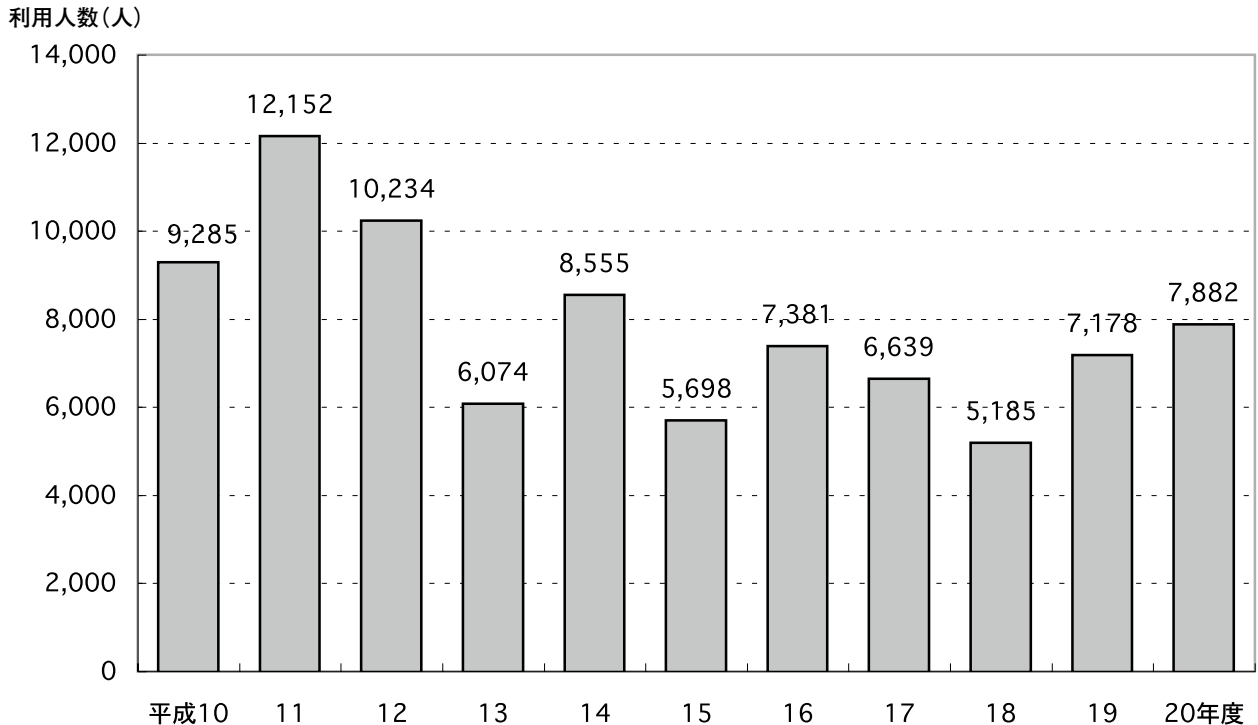
Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

図表 3-58 学校体育館開放の利用状況



出典) 区生涯学習課資料

図表 3-59 開放プール利用状況



出典) 区生涯学習課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策332 読書活動を支援する

区内には12館の図書館が開設され、150万冊以上の蔵書と約11万の各種資料を備えている

図表 3-60 所蔵資料数

		総数	光が丘	練馬	石神井	平和台	大泉	関町
図書	合計	1,528,907	284,363	147,829	138,384	131,495	147,991	114,107
	一般書	1,048,855	197,450	107,656	105,676	93,436	95,126	79,837
	青少年向け	70,716	15,915	1,624	2,529	2,673	6,141	3,581
	児童書	408,539	70,816	38,494	30,145	35,325	46,680	30,611
	その他図書	797	182	55	34	61	44	78
その他資料	合計	112,507	24,031	11,529	7,691	9,437	7,647	6,481
	C D	95,190	16,619	11,133	6,860	6,396	7,264	5,953
	カセットテープ	2,798	258	271	262	685	264	67
	レコード	1,988	372	29	401	811	52	298
	ビデオテープ	2,734	1,593	96	168	177	67	163
	昆虫標本	3,240						
	点字図書	3,417	3,417					
	マイクロフィルム	3,140	1,772			1,368		
雑誌 (種)		364	144	136	156	156	136	
新聞 (種)		49	22	23	21	29	29	

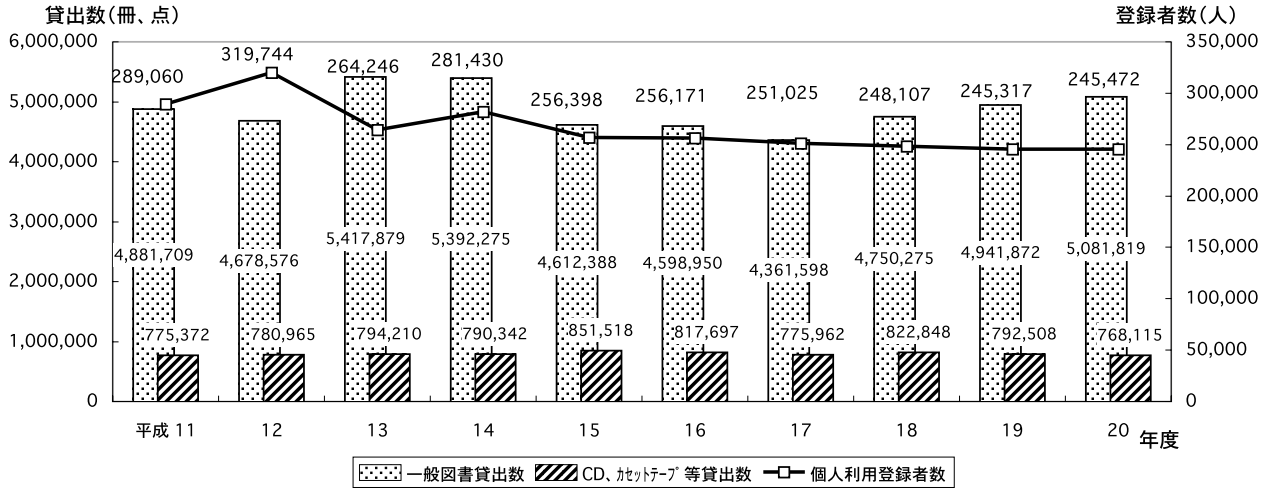
		貫井	稲荷山	小竹	南大泉	春日町	南田中
図書	合計	139,970	80,025	81,793	89,121	107,326	66,503
	一般書	92,936	54,301	53,251	55,416	72,230	41,540
	青少年向け	5,283	4,260	3,768	10,297	11,354	3,291
	児童書	41,676	21,338	24,750	23,364	23,704	21,636
	その他図書	75	126	24	44	38	36
その他資料	合計	9,484	8,289	8,341	5,848	9,353	4,376
	C D	8,747	4,835	8,017	5,806	9,203	4,357
	カセットテープ	585	126	186	2	92	0
	レコード	25	0	0	0	0	0
	ビデオテープ	127	88	138	40	58	19
	昆虫標本		3,240				
	点字図書						
	マイクロフィルム						
雑誌 (種)	154	129	134	123	148	129	
新聞 (種)	24	13	24	39	26	24	

注) 平成21年8月末現在
出典) 区光が丘図書館資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

図書貸出、CD等資料とも貸出数は横ばい状態であり、登録者数は減少傾向にある

図表 3-61 図書館の利用状況



注) 各年度とも3月末現在
出典) 区光が丘図書館資料

図表 3-62 図書館情報化サービス利用状況

利用者開放用端末(33台)利用者	86,937人
利用パスワード登録者	77,158人
Eメールアドレス登録者	56,857人
インターネット資料予約数	1,187,030人
図書館情報ボックス利用者数	106,755人

注1) 図書館情報ボックス: 電話による自動音声応答システム

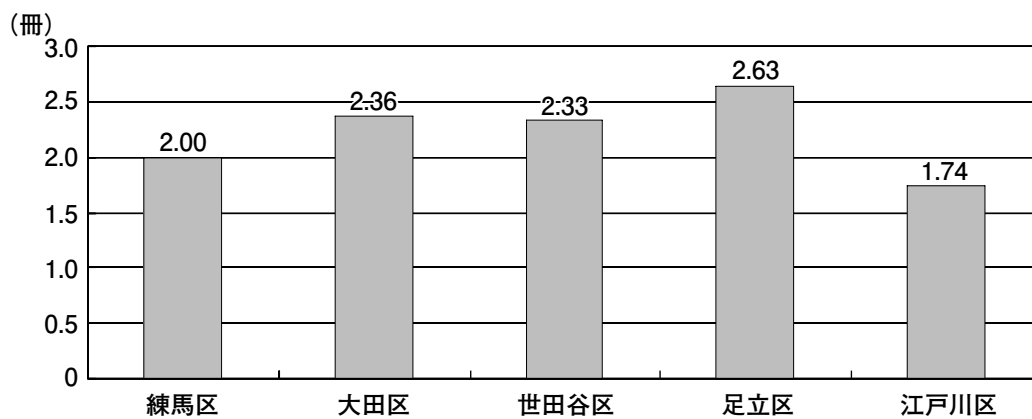
注2) 平成20年度

出典) 区光が丘図書館資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

人口が60万人を超える5区の中で、練馬区の区民一人当たり蔵書数は江戸川区に次いで低い水準にとどまっている

図表 3-63 人口が60万人を超える5区における区民一人当たり蔵書冊数



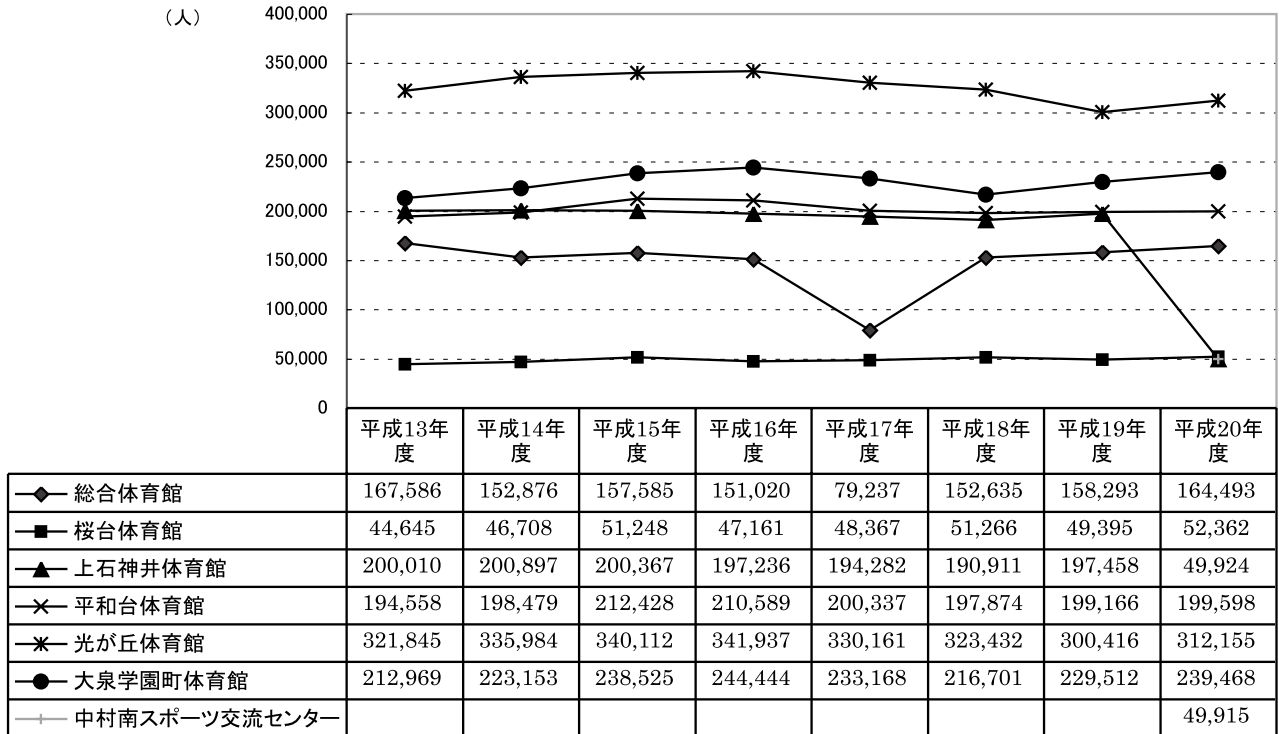
※「平成20年度東京都公立図書館調査」の数値に基づき算出。同調査は、平成20年4月1日を基準とし、蔵書冊数については、平成20年3月31日現在の登録数の数値を使用。
出典) 区光が丘図書館資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策 333 スポーツ活動を支援する

体育館利用者は年間100万人を超える

図表 3-64 体育館の利用者推移



注1) 上石神井体育館は、平成20年7月1日から平成21年3月31日まで大規模改修工事のために休館

注2) 中村南スポーツ交流センターは、平成21年1月22日に開館

出典) 区スポーツ振興課資料

区内には7つのSSCが活動し、区民からは、「クラブ会費が安いこと」や「いつでもだれでも参加できる仕組み」などについて期待されている

図表 3-65 総合型地域スポーツクラブ (SSC)

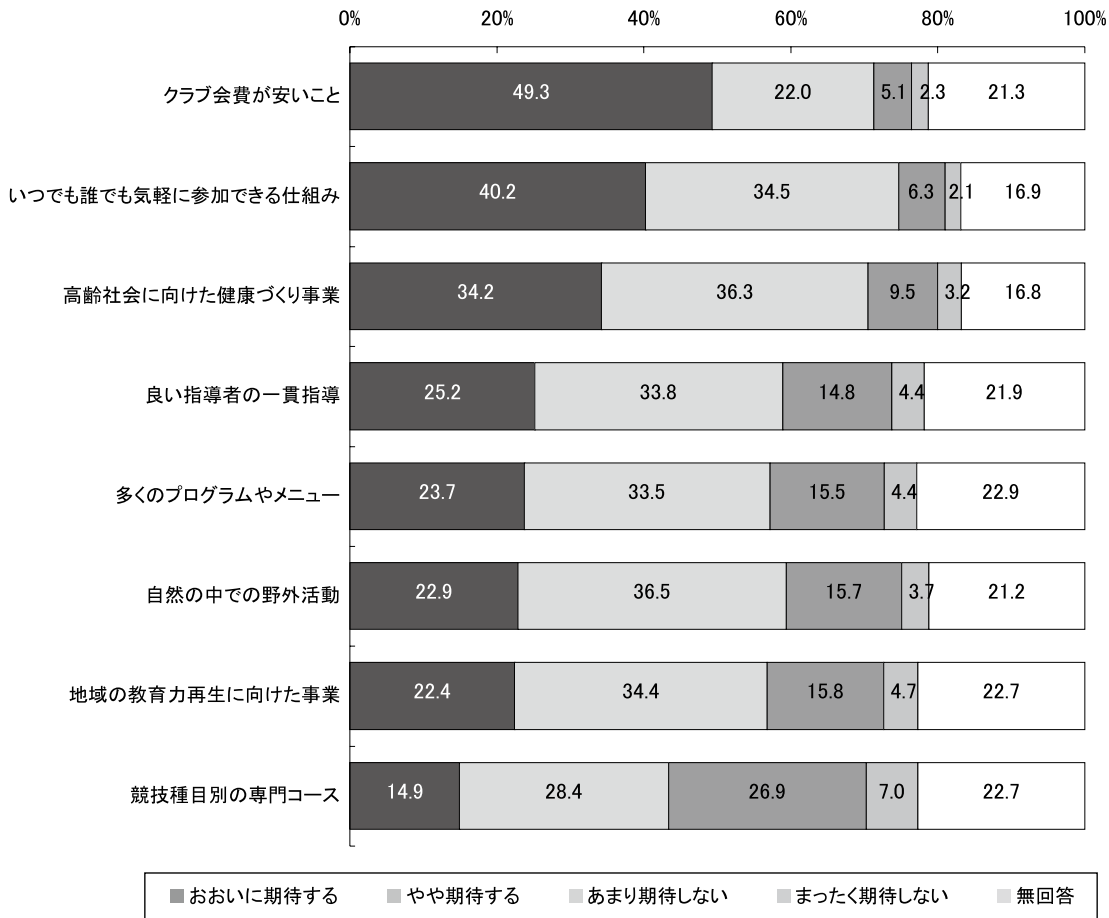
クラブ名 (通称名)	設立年月日	主催・共催 事業参加者数
NPO 法人 SSC 谷原アルファ (SSC 谷原)	平成14年8月24日	22,241
NPO 法人スポーツコミュニティ桜 (SSC 桜台)	平成14年9月5日	5,210
NPO 法人スポーツクラブホワイエ上石神井 (SSC 上石神井)	平成14年12月17日	3,989
NPO 法人総合型地域スポーツクラブ平和台 (SSC 平和台)	平成14年10月4日	13,330
NPO 法人光が丘総合型地域 スポーツ・レクリエーションクラブ (SSC 光が丘)	平成14年9月10日	7,272
NPO 法人コミュニティネットSSC大泉 (SSC 大泉)	平成14年8月13日	35,964
豊玉・中村地域スポーツクラブ「クラブプラッツ」 (SSC 豊玉・中村)	平成21年2月21日	357

注) 平成21年3月末現在

出典) 区スポーツ振興課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

図表 3-66 総合型地域スポーツクラブ (SSC) に期待するもの



出典) 練馬区「スポーツに関する区民意識意向調査報告書(平成18年度)」

スポーツの機会を広げるために、各種大会の開催をはじめ、スポーツ教室、野外活動など多くの事業を提供している

図表 3-67 スポーツ事業

区 分		内容および参加人数	
各種大会	区民体育大会	33 種目	19,982 人
		総合開会式	800 人
	都民体育大会	30 種目	465 人
	都民生涯スポーツ大会	15 種目	172 人
	城北地区競技会	6 種目	285 人
	少年野球大会	64 チーム	1,109 人
野外活動	女性スポーツ大会	3 種目	1,390 人
	区民歩行会	2 回	308 人
	わんぱくキャンプ	1 回	63 人
スポーツ教室	30 種目	72 教室	5,997 人
夏休み水泳教室	2 校		214 人
少年少女スポーツふれあいひろば	1 回		384 人
体育の日記念行事	7 会場		12,705 人

注) 平成20年度実績

出典) 区スポーツ振興課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

区内で1,203団体が生涯学習スポーツ団体として登録し、706名のスポーツリーダーが活動している

図表 3-68 種目別生涯学習スポーツ団体届出数

種目		団体数	種目		団体数
球技	バレーボール	146	体操	体操	64
	バドミントン	89		健康づくり	53
	卓球	96		エアロビクス	22
	バスケットボール	76	武道	剣道	42
	キャッチバレーボール	31		空手	26
	野球	47		合気道	20
	ソフトボール	30		その他(武道)	28
	サッカー	91	ダンス	社交ダンス	43
	テニス	38		フォークダンス	16
	その他(球技)	11		その他(ダンス)	51
水泳	水泳	93	その他	野外活動	26
	その他	7		ニュースポーツ	43
				その他	14
合計					1,203

注) 平成21年3月末現在
出典) 区スポーツ振興課資料

図表 3-69 種目別スポーツリーダー数

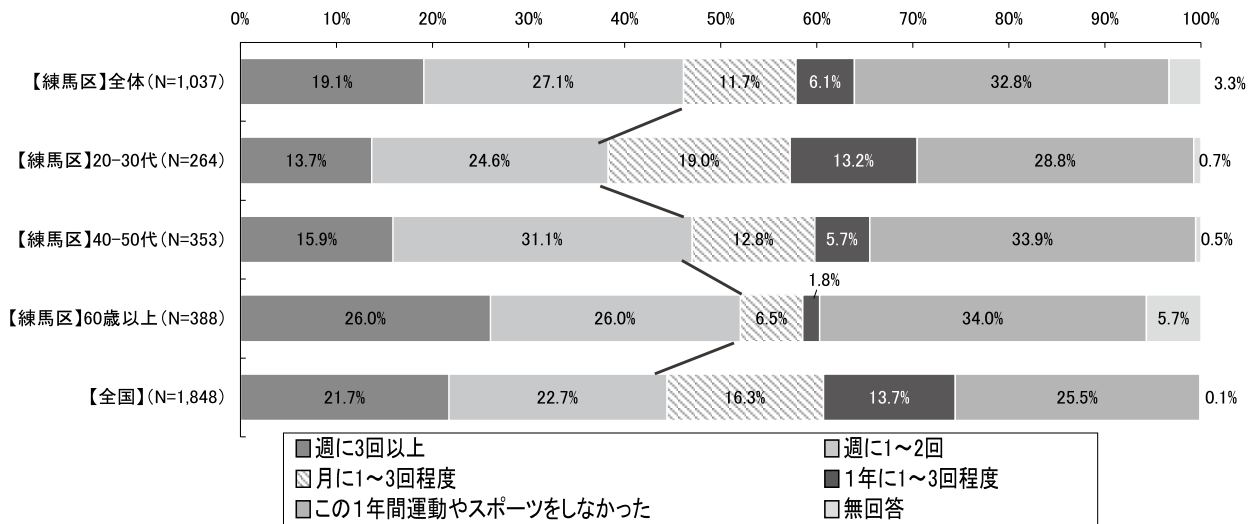
種目	リーダー人数	種目	リーダー人数
バレーボール	19	ベタンク	16
バドミントン	63	ソフトバレーボール	36
卓球	57	グラウンド・ゴルフ	18
水泳	144	インディアカ	39
陸上	4	ラケットテニス	10
サッカー	2	ターゲット・バードゴルフ	8
テニス	1	カヌー	3
ソフトボール	6	スポーツチャンバラ	4
野外活動	1	ウォーキング	68
ダンス	7	ユニバーサルホッケー	5
軽スポーツ	6	フットサル	43
バウンドテニス	3	ティーボール	6
体操	32	チェックボール	22
健康トレーニング	2	水中運動	19
クラブコーディネーター	60	エコロジースポーツ	2
合計			706

注) 平成21年3月末現在
出典) 区スポーツ振興課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

成人の区民で週1回以上スポーツを行っている割合は46.2%と全国の44.4%を上回っており、年齢が高くなるほど、その割合は増えている

図表 3-70 区民のスポーツ実施率（区民がスポーツを実施している度合い）



出所：スポーツに関する区民意識意向調査（平成18年度）

※全国のデータは、「体力、スポーツに関する世論調査」（内閣府大臣官房政府広報室 平成18年度）より

出典）練馬区スポーツ振興基本計画

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策334 文化財を保存・活用・継承する

平成20年度には文化財講座に、延べ334人が参加した

図表 3-71 文化財講座

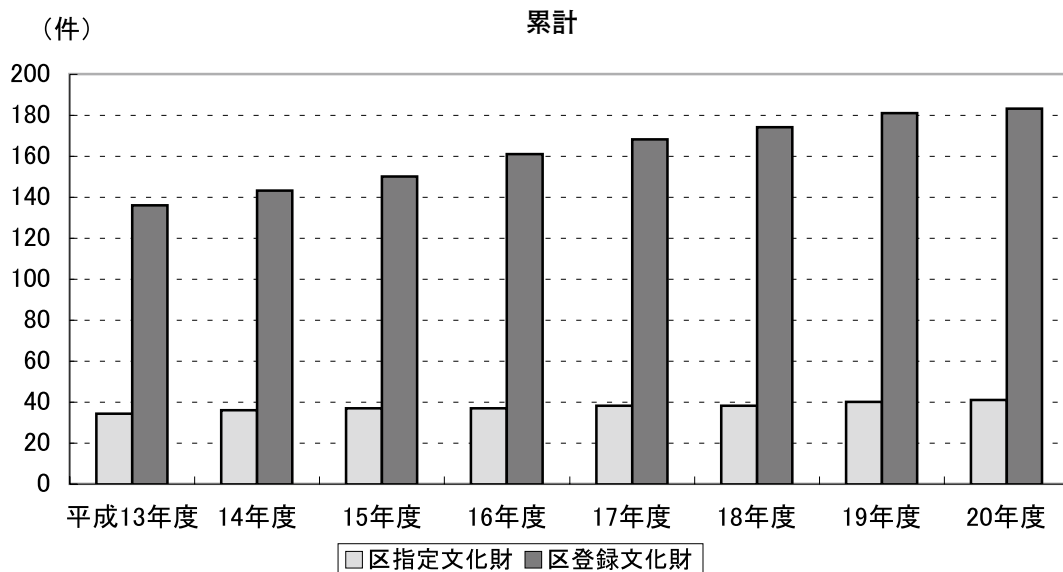
	参加人数 (延べ、人)
平成15年度	646
平成16年度	964
平成17年度	681
平成18年度	74
平成19年度	660
平成20年度	334

出典) 練馬区教育要覧

区指定文化財、区登録文化財ともに件数が増加している

図表 3-72 文化財の指定・登録件数

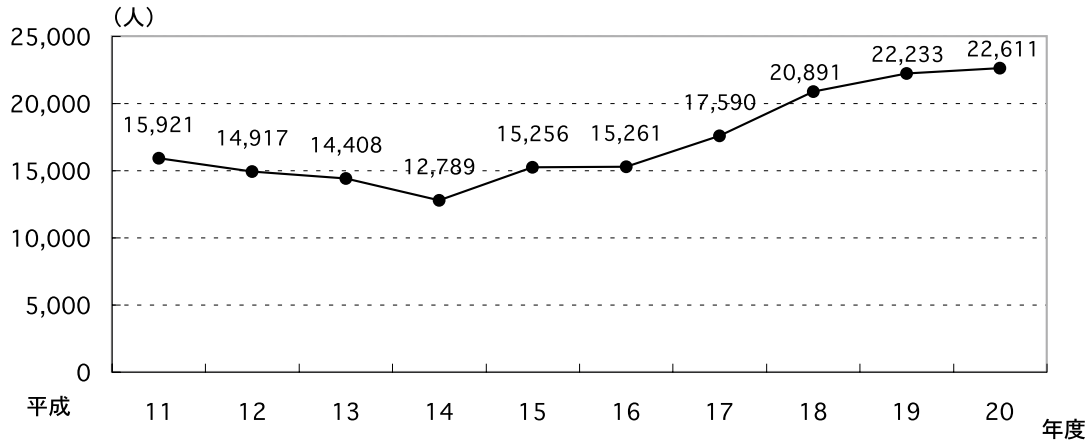
	区指定文化財 (件)		区登録文化財 (件)	
	年度内指定数	累計	年度内登録数	累計
平成13年度	1	35	5	136
平成14年度	1	36	7	143
平成15年度	1	37	7	150
平成16年度	0	37	11	161
平成17年度	1	38	7	168
平成18年度	0	38	6	174
平成19年度	2	40	7	181
平成20年度	1	41	2	183



出典) 練馬区教育要覧

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

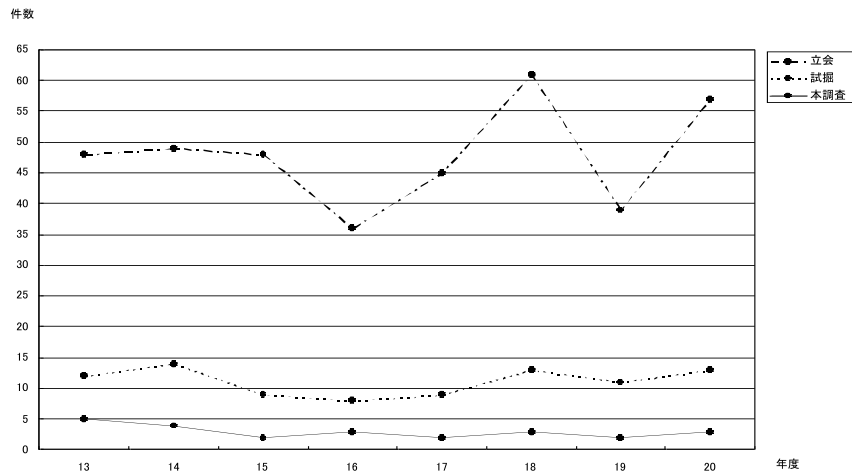
図表 3-73 郷土資料室来室者数



注) 石神井公園ふるさと文化館開設工事に伴い平成 20 年度で閉室した。

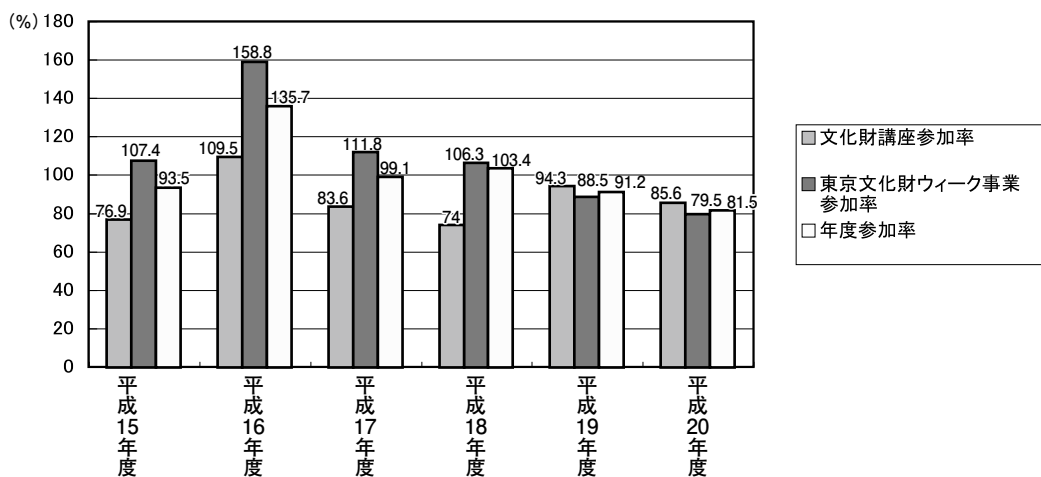
出典) 区生涯学習課資料

図表 3-74 埋蔵文化財処理件数



出典) 練馬区「埋蔵文化財調査報告:年報」

図表 3-75 文化財、伝統文化に関する普及啓発事業参加率



出典) 区生涯学習課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

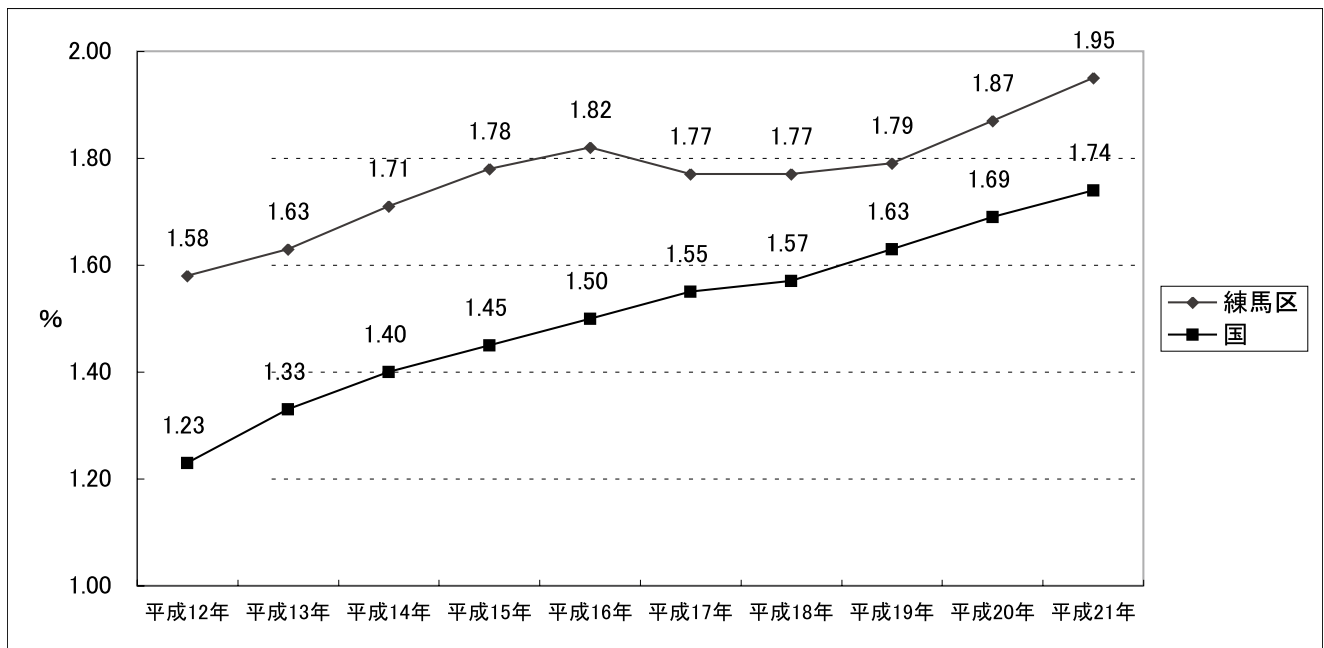
施策335 多様な文化・社会への理解を進める

練馬区の外国人登録者数は年々増加しており、総人口に占める割合は国を上回っている

図表 3-76 練馬区と国の外国人登録者数の推移

(練馬区：1月1日現在 国：前年末現在)

年	練馬区		国	
	外国人登録者数(人)	総人口に占める割合(%)	外国人登録者数(人)	総人口に占める割合(%)
平成12年	10,390	1.58	1,556,113	1.23
平成13年	10,765	1.63	1,686,444	1.33
平成14年	11,465	1.71	1,778,462	1.40
平成15年	12,027	1.78	1,851,758	1.45
平成16年	12,351	1.82	1,915,030	1.50
平成17年	12,114	1.77	1,973,747	1.55
平成18年	12,114	1.77	2,011,555	1.57
平成19年	12,361	1.79	2,084,919	1.63
平成20年	13,067	1.87	2,152,973	1.69
平成21年	13,735	1.95	2,217,426	1.74



出典) 区文化国際課資料

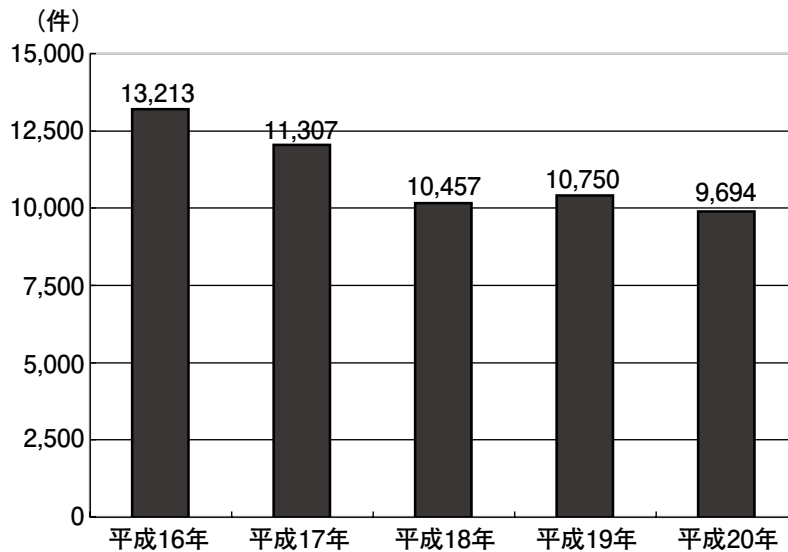
政策 34

安全で安心な区民生活を支える態勢を整える

施策 341 犯罪等に対する態勢を強化する

区内の犯罪発生件数は平成17年に大きく減少し、その後は概ね横ばい傾向にある

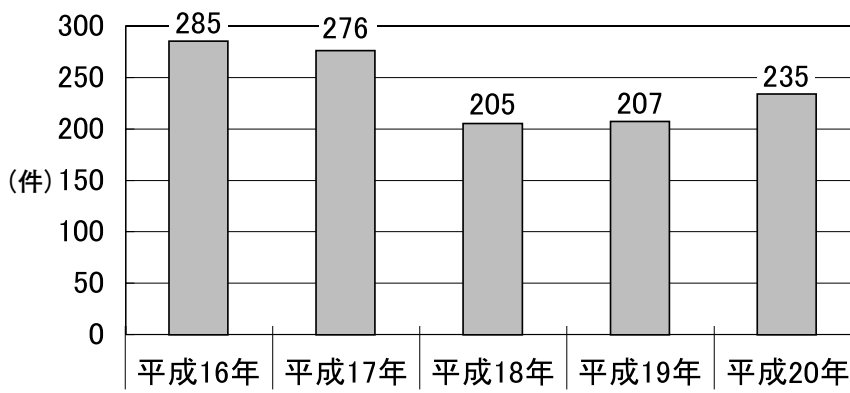
図表 3-77 犯罪発生件数の推移（刑法犯）



出典) 警視庁総務部文書課「警視庁の統計」

区内の火災発生件数は平成18年に大きく減少し、その後は概ね横ばい傾向にある

図表 3-78 火災発生件数の推移



出典) 区安全・安心担当課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策342 自然災害に対する態勢を強化する

大規模地震の際の練馬区の被害想定は、マグニチュード6.9の東京湾北部地震のケースで死者33人、負傷者1,830人、被災当初の避難所生活者は68,531人、マグニチュード7.3のケースでは、さらに被害が拡大すると見込まれている

図表 3-79 練馬区に関する地震被害想定（抜粋）

被害の種類	東京湾北部地震 (M 6.9)		東京湾北部地震 (M 7.3)	
建築物全壊棟数	270	棟	1,582	棟
建築物半壊棟数	5,338	棟	14,026	棟
ライフラインの被害				
上水道（断水率）	15.5	%	28.4	%
下水道（管きよ被害率）	17.1	%	18.1	%
都市ガス（供給停止率）	0.0	%	0.0	%
電力（停電率）	6.0	%	11.1	%
電話（不通率）	5.8	%	9.3	%
出火件数	21	件	33	件
焼失面積	2.9	km ²	4.98	km ²
死者	33	人	98	人
負傷者	1,830	人	4,320	人
帰宅困難者	39,821	人	39,821	人
エレベーター閉じ込め台数	149	台	199	台
避難所生活者（1日後）	68,531	人	97,847	人
避難所生活者（1か月後）	35,632	人	67,554	人

（冬の夕方18時 風速6mでの想定）

出典）東京都防災会議（平成18年5月）

防災訓練には、年間延べ5万人強の区民が参加している

図表 3-80 区防災訓練参加者数

項目	18年度 (単位：人)	19年度 (単位：人)	20年度 (単位：人)
水防訓練	765	947	713
震災総合訓練	4,259	139	2,048
避難拠点・防災会・市民消防隊等の訓練・会議等	51,484	45,507	48,332
防災啓発活動（講演会等）	532	786	305

※ 19年度の震災総合訓練は図上訓練を実施したため、避難拠点の立ち上げ訓練は実施しなかった

出典）区防災課資料

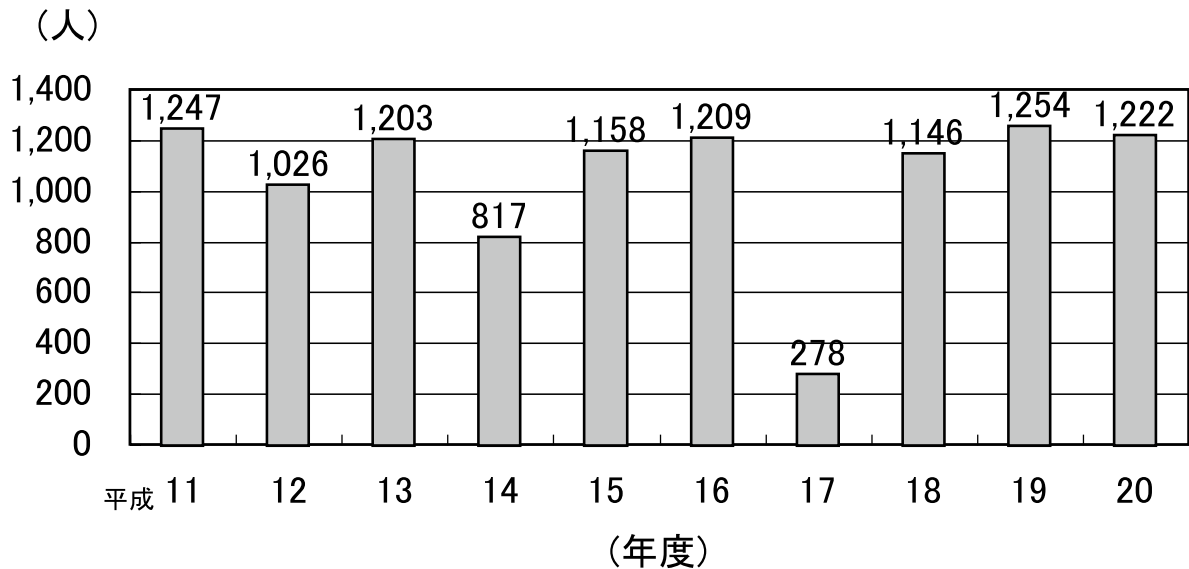
政策 35 平和と人権を尊重する

施策 351 平和を尊ぶ心をはぐくむ

平和に関する啓発事業が毎年実施されており、1,200人前後の参加者がある

図表 3-81 平和祈念コンサート入場者数

年度	定員	入場者	会場	備考
平成 11 年	1,498	1,247	文化センター大ホール	
平成 12 年	1,498	1,026	文化センター大ホール	
平成 13 年	1,498	1,203	文化センター大ホール	
平成 14 年	1,498	817	文化センター大ホール	
平成 15 年	1,498	1,158	文化センター大ホール	
平成 16 年	1,498	1,209	文化センター大ホール	
平成 17 年	302	278	公民館ホール	文化センター改修のため 公民館で実施
平成 18 年	1,486	1,146	文化センター大ホール	改修工事により定員減
平成 19 年	1,486	1,254	文化センター大ホール	
平成 20 年	1,486	1,222	文化センター大ホール	



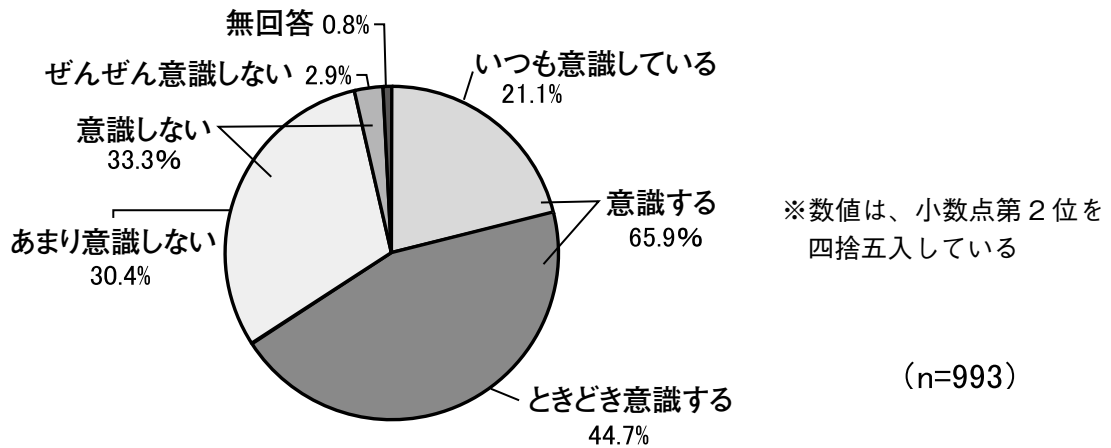
出典) 区総務課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

施策352 人権の尊重と男女共同参画を進める

日常の「人権」意識は、「いつも意識している」(21.1%)と「ときどき意識する」(44.7%)と合わせて6割半ばである

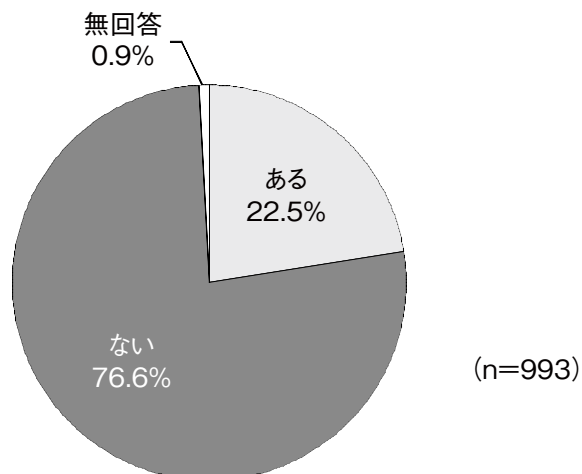
図表3-82 日常の人権意識について



出典) 平成20年度区民意識意向調査

自分や家族への人権侵害の経験のある区民は22.5%である

図表 3-83 自分や家族への人権侵害の経験の有無

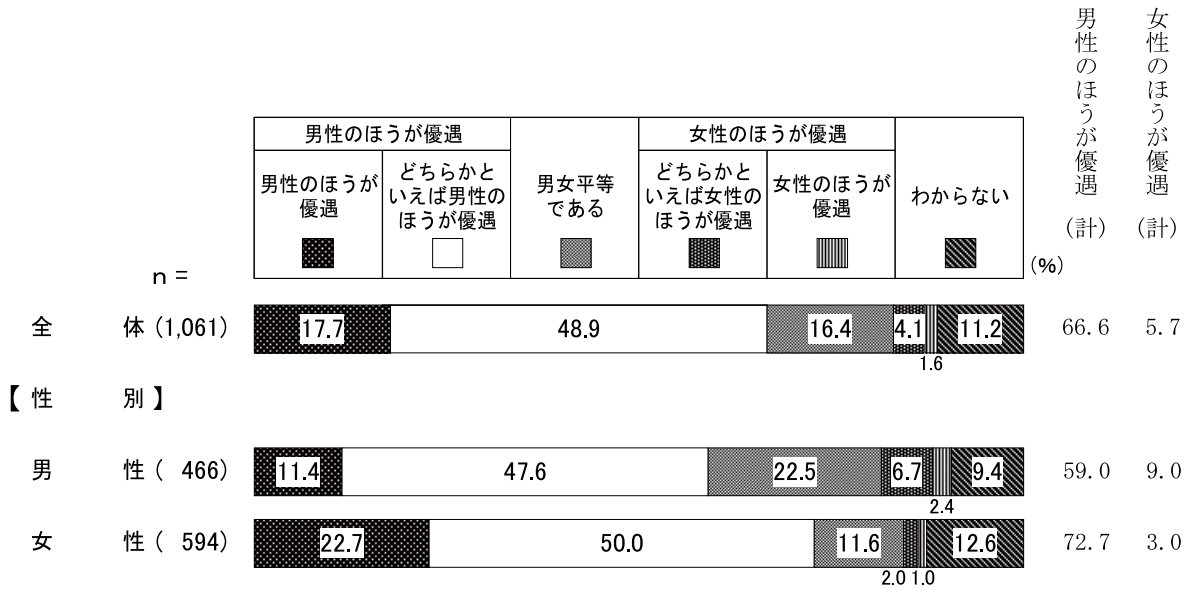


出典) 平成20年度区民意識意向調査

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

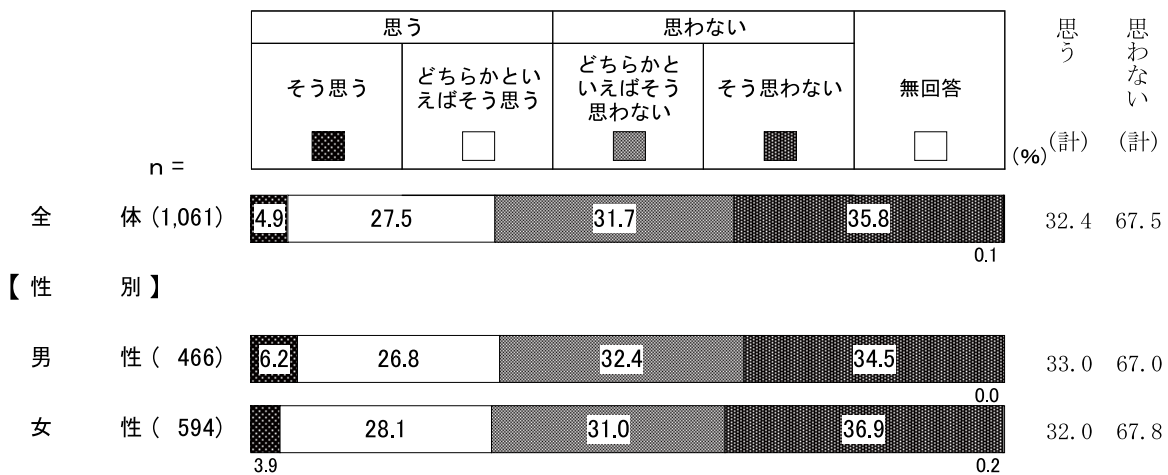
社会全体の男女平等実現感について区民は男女とも不十分と感じており、また男性と女性では実感に差がある

図表 3-84 社会全体の男女平等実現感



性別役割分担を肯定する考えを持つ人の割合は、否定する考えを持つ人を下回っているものの、未だに小さくない割合を占めている

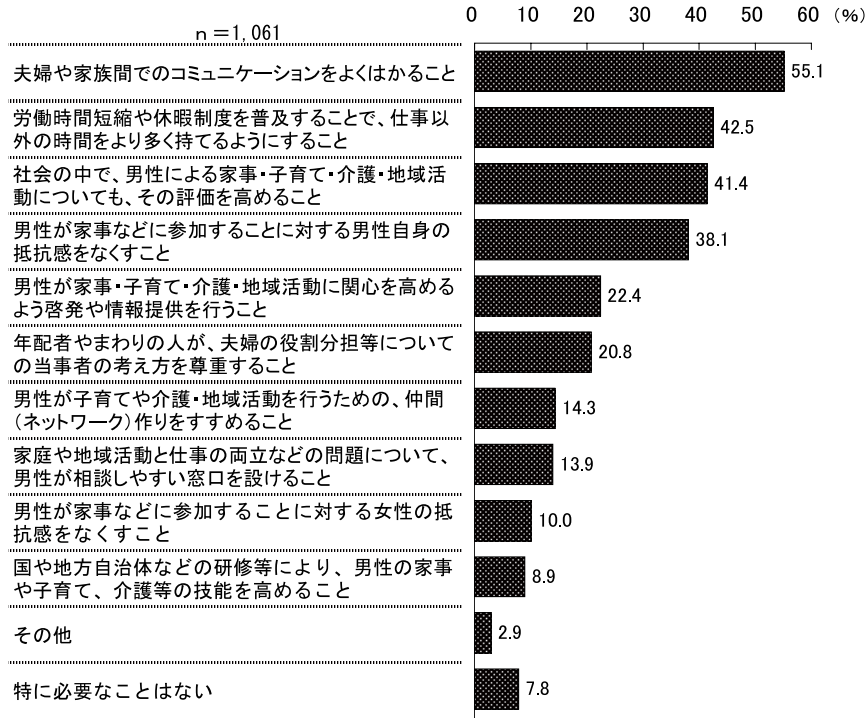
図表 3-85 男は仕事、女は家庭という考え方に対する意見



Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

男性が家事、子育て等に参画するためには、夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかることや労働時間の短縮などの労働環境の整備が必要と考えられている

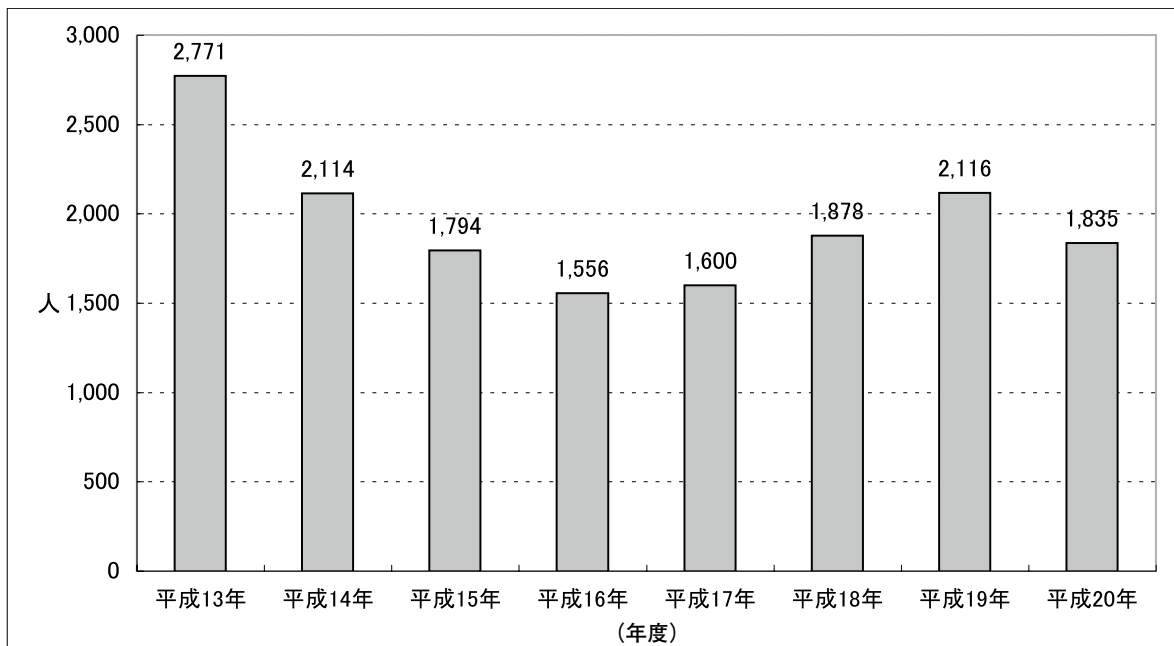
図表 3-86 男性が家事、子育て等に参画するために必要なこと



出典) 平成 21 年度区民意識意向調査

練馬女性センター※ではさまざまな事業が実施され、毎年延べ2千人前後の参加者がある
 ※平成 22 年 4 月から練馬女性センターを男女共同参画センターに変更

図表 3-87 練馬女性センター事業への延べ参加者数



出典) 区人権・男女共同参画課資料

Ⅱ. 3 区民生活と産業分野 にぎわいとやすらぎのあるまちを創る

図表 3-88 練馬女性センター事業への延べ参加者数（平成20年度）

項目	事業名	開催月	回数	参加者	保育数
			(日数)	(延べ)	(延べ)
女性センターえるフェスティバル	「男女がともに輝くねりまをめざして」 講演：「大切なものがわかれば変えられる」（神津カンナ） むつみ太鼓、手作り体験コーナー、わくわく劇場、クイズとお話「男女共同参画社会」って何だろう？、子育ての部屋、マジックショー、健康セミナー、健康体操、男女共同参画に関するパネル展示、利用団体の作品発表	5/31 6/1	2	1,200	3
女性問題講座	女性就労支援講座 「パソコン講習会 ～ビジネス文書、宛名ラベル、名刺の作り方」	7・12	8	75	10
	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座 「産前産後のセルフケア教室」	10・3	5	71	31
	高齢者・介護従事者向け講座 「見て看られて ～歳を重ねるといこと」	10	3	56	0
	家族問題講座 「さまよう家族 ～子どもの姿見えますか？」	11	1	30	1
	女性学講座 「国際ジャーナリストがみつめた世界の女性たち」	11	4	97	9
	女性就労支援セミナー 「女性のための再就職支援セミナー」	12・2	2	64	6
	ネットワーク講座 「パパのためのベビーマッサージ教室」	2	2	37	3
	図書・資料室講座 「ブックタイム」	2	1	5	5
	男性向け講座 「男性料理教室 ～おせちにも使える中華」	12	2	39	0
生活と文化の講座	パソコン相談会	9・11・ 1・3	8	75	2
講演会	冒険家 風間深志さんの冒険談	8	1	86	1

出典) 区人権・男女共同参画課資料

